

荒川区 指定管理者
平成25年度分 実績評価結果

平成26年9月

目 次

<ul style="list-style-type: none"> ●評価項目及び評点について … 3 ●文化施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区民会館（サンパール荒川） … 4 日暮里サニーホール … 6 荒川区ムーブ町屋 … 8 ●ふれあい館 <ul style="list-style-type: none"> 石浜ふれあい館 … 10 南千住ふれあい館 … 12 南千住駅前ふれあい館 … 14 汐入ふれあい館 … 16 峡田ふれあい館 … 18 荒川山吹ふれあい館 … 20 町屋ふれあい館 … 22 荒木田ふれあい館 … 24 尾久ふれあい館 … 26 西尾久ふれあい館 … 28 東日暮里ふれあい館 … 30 夕やけこやけふれあい館 … 32 西日暮里ふれあい館 … 34 ●生涯学習施設 <ul style="list-style-type: none"> 町屋文化センター … 36 生涯学習センター … 38 清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 … 40 ●社会体育施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川総合スポーツセンター … 42 ●高齢者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 … 44 特別養護老人ホームサンハイム荒川 … 46 特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 … 48 グリーンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 50 サンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 52 花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC … 54 西日暮里在宅高齢者通所SC … 56 町屋在宅高齢者通所SC … 58 	<ul style="list-style-type: none"> 南千住中部在宅高齢者通所SC … 60 東日暮里在宅高齢者通所SC … 62 荒川東部在宅高齢者通所SC … 64 西尾久西部在宅高齢者通所SC … 66 荒川老人福祉センター … 68 授産場 … 70 ●障がい者施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川福祉作業所 … 72 荒川生活実習所 … 74 尾久生活実習所本所／分場 … 76 障害者福祉会館 … 78 精神障害者地域生活支援センター … 80 障害者グループホーム … 82 ●保育施設 <ul style="list-style-type: none"> 小台橋保育園 … 84 上尾久保育園 … 86 南千住さくら保育園 … 88 汐入とちのき保育園 … 90 はなみずき保育園 … 92 南千住保育園 … 94 南千住七丁目保育園 … 96 夕やけこやけ保育園 … 98 ●自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅東口自転車等駐車場 … 100 センターまちや自転車駐車場 … 102 日暮里駅前自転車駐車場 … 104 ●住宅 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目、南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目） … 106 荒川区民住宅（西日暮里三丁目、東日暮里六丁目町屋八丁目、町屋五丁目） … 108
--	---

※ 通所サービスセンターを「SC」と記載しています。

<評価項目及び評点について>

実績評価にあたっては、次の7項目を基本とし、施設種別に評価の視点を設定した。

- ア 適切な施設運営・維持管理
- イ 区民サービス・利用者意見
- ウ 危機管理・苦情・事故等の対応
- エ 収支状況・縮減努力
- オ 法人決算
- カ 労務
- キ 地域との関わり等

評価項目ごとにA、A-、B+、B、B-、Cの6段階で評価を行った。

<上記のアからウについて>

- A：優れた内容の事業計画書等に基づき、適切に業務が行われていた。
- B：概ね業務仕様書等の内容どおりに業務が行われていた。
業務の一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：業務仕様書等の内容を下回っており、改善の見込みがない。

<エ 収支状況・縮減努力について>

- A：会計手続及び予算管理が適正であり、経費縮減の努力が行われていた。
- B：概ね会計手続及び予算管理等が適切に行われていた。
一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：会計手続及び予算管理等に問題があり、改善の見込みがない。

<オ 法人決算について>

- A：安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
- B：安定的・継続的な運営に一部改善の必要があるが、改善の見込みがある。
- C：安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

<カ 労務について>

- A：労務環境が適正である。
- B：労務環境に一部改善の必要があったが、改善された。
- C：労務環境に問題があり、改善の見込みがない。

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川1-1-1
指定管理者	名称	MKT共同事業体 （構成団体：代表企業・三菱電機ビルテクノサービス(株)、 (株)共立、(株)スペースネットワーク）
	所在地	荒川区荒川7-19-1(代表企業所在地)
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務</p> <p>2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務</p> <p>3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務</p> <p>4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務</p> <p>5 施設等の維持管理に関する業務</p> <p>6 前5号のほか、区長が必要と認める業務</p> <p><施設の概要></p> <p>○大ホール 収容人員1,120席 面積1,162㎡</p> <p>○小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡</p> <p>○集会室</p> <p>第1（洋室） 定員32名 面積78㎡</p> <p>第2（洋室） 定員50名 面積73㎡</p> <p>第3（洋室） 定員50名 面積85㎡</p> <p>※第2・3は通し使用可能</p> <p>第4（和室） 定員40名 面積90㎡</p> <p>第5（洋室） 定員50名 面積92㎡</p> <p>第6（洋室） 定員50名 面積99㎡</p> <p>※第5・6は通し使用可能</p> <p>第7（洋室） 定員100名 面積184㎡</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>1. 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等</p> <p>2. 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修、ビジネスマナー研修等</p>		
平成25年度の実績		
<p>1. 上記管理運営事務の実施</p> <p>2. 利用料金収入 66,904,589円</p> <p>3. 稼働率 大ホール55.1% 小ホール61.9% 集会室43.2%</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	227,031,800	216,088,000	230,983,200	232,820,428
	決算	245,115,898	244,307,832	242,187,700	
支出	予算	227,031,800	216,088,000	230,983,200	232,820,428
	決算	234,157,344	239,002,541	240,281,534	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	10,958,554	5,305,291	1,906,166	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	B	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	B+
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協業内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障がい者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練や会議等へ積極的に出席し、地域との関係を深めている。 ・修繕工事では、67件中、専門性の高い41件を除く他の26件全てを区内業者に発注した。 ・区民雇用率：15%（施設職員） ・障害者雇用率：2.2%（法人2社平均） ・不要な照明の消灯、空調ダクトのフィルタ清掃等を徹底し、電力使用量の「22年度のピーク時比較15%削減」を目標として、継続的に節電に努めている。空調用の都市ガス使用量も同年比で10%節減している。 	

総評

[サービス面の評価]

- ・昨年度に引き続き、法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、迅速な対応を行っている。接遇向上に向けた研修や地域の情報収集も積極的に行い、危機管理に関する教育も定期的に行っている。
- ・昨年度に引き続き、地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力を行っている。また、指定管理者であるMKT共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

昨年度と比較してサービス面の区民サービス・利用者意見の視点では改善が図られ、そのほかのサービス面・財務面は昨年を引き続きおおむね良好であった。一方で労務面においては、一部の書類管理に不十分な点があったが、改善が図られており、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町5-1 弘済会館ビル (代表企業所在地)
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（以下、「ACC」という。）の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員500名(フラット時)／面積404㎡ ○コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)／面積113㎡ ○会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) <li style="padding-left: 2em;">第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) <li style="padding-left: 2em;">第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) ※第2、3会議室は通し使用可能 	
平成25年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台技術者研修、個人情報保護研修、ノロウィルス衛生講習会等、施設運営に必要な研修 		
平成25年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記事業計画の実施 2 利用料金収入 52,659,850円 3 稼働率 ホール67.1% コンサートサロン89.0% 会議室75.7% 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	55,024,000	93,891,054	94,248,000	97,418,000
	決算	59,134,040	94,141,774	95,862,662	
支出	予算	54,687,460	93,891,054	94,248,000	97,418,000
	決算	47,011,892	96,650,641	95,353,584	
収支	予算	336,540	0	0	0
	決算	12,122,148	-2,508,867	509,078	

(備考)

1 指定管理者の変更 24年度から指定管理者が変更になった。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	B+	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	B+
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働関係 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民参加型の行事では最大限の協力体制を図った。 ・修繕工事では、14件中、専門性の高い6件を除く他の8件全てを区内業者に発注した。 ・区民雇用率：4.7% ・障害者雇用率：2.15% ・不要な照明の消灯や第二・三会議室のLED化、適切な空調設定による節電、節電・節水の周知、グリーンマーク商品の購入、消耗品の徹底した在庫管理に努めていた。 	

総評

[サービス面の評価]

- ・昨年度に引き続き、大きな事故やトラブルはなく、適切な管理運営を行っている。
- ・情報誌の発行を継続して区の文化の情報提供のために工夫したり、利用者の状況、要望の適確な把握を行ったりと、昨年度以上にサービス向上に努めている。
- ・昨年度に引き続き、区への連絡や報告が迅速かつ的確に行われ、情報共有の姿勢がしっかりしており、利用者への対応について区と連携して行うという指定管理者の役割を認識している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であり、経費節減の努力を行っている。また指定管理者である日暮里サニーホールさくらグループは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている。

[総合評価]

サービス面・財務面は一部改善され、昨年に引き続きおおむね良好であった。一方で労務面においては、一部の書類管理に不十分な点があったが、改善が図られており、全体として指定管理業務は適切に行われていたと評価できる。

担当所管部署 部 区民生活部 課 区民課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川7-50-9 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	ムーブ町屋さくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員296席/面積343㎡ ○会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59㎡ ○会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70㎡ ○スタジオ 収容人員10名程度/面積51㎡ ○企画展示コーナー オープンスペース/面積145㎡ (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185㎡) 	
平成25年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 管理職研修、自衛消防技術発表会、個人情報保護研修等、施設運営に必要な研修 		
平成25年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記事業計画の実施 2 利用料金収入 29,612,500円 3 稼働率 ムーブホール63.2% 会議室A(ハイビジョンルーム) 52.6% 会議室B(ミニギャラリー)60.3% スタジオ68.5% 企画展示コーナー(ギャラリー)52.3% 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	49,713,000	64,441,080	62,137,000	63,913,000
	決算	50,595,030	61,872,284	62,082,079	
支出	予算	49,713,000	64,441,080	62,137,000	63,913,000
	決算	36,450,209	62,525,994	65,454,200	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	14,144,821	-653,710	-3,372,121	

(備考)

1 指定管理者の変更 24年度から指定管理者が変更になった。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	B+	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	B+
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働関係 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民参加型の行事では最大限の協力体制を図った。また、情報誌の取材をとおして、地域との関係を構築している。 ・ 修繕工事では、15件中、専門性の高い8件を除く他の7件全てを区内業者に発注した。 ・ 区民雇用率：9.7%(施設職員) ・ 障害者雇用率：2.15%(法人2社平均) ・ 不要な照明の消灯や適切な空調設定による節電、節電・節水の周知、グリーンマーク商品の購入、消耗品の徹底した在庫管理に努めていた。 	

総評

[サービス面の評価]

- ・ 昨年度に引き続き、大きな事故やトラブルはなく、適切な管理運営を行っている。
- ・ 情報誌の発行を継続して区の文化の情報提供のために工夫したり、利用者の状況、要望の適確な把握を行ったりと、昨年度以上にサービス向上に努めている。
- ・ 昨年度に引き続き、区への連絡や報告が迅速かつ確に行われ、情報共有の姿勢がしっかりしており、利用者への対応について区と連携して行うという指定管理者の役割を認識している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であり、経費節減の努力を行っている。また、指定管理者であるムーブ町屋さくらグループは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、すでに改善されている

[総合評価]

サービス面・財務面は一部改善され、昨年に引き続きおおむね良好であった。一方で労務面においては、一部の書類管理に不十分な点があったが、改善が図られており、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 区民課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号 NSビル4F
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1018.44㎡ 延床面積 1105.06㎡ (1階328.71㎡、2階356.03㎡ 3階176.17㎡、4階244.15㎡)</p> <p>施設内容 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…和室1・2 4階…洋室1・2、備蓄倉庫 その他附属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム・高齢者との世代間交流・各種講座等の事業を行う。また、親子ふれあいひろばを活用し、乳幼児やその保護者が安全に過ごせる環境を作る。 多く子どもたちが参加できるようなサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図る。 中高生が利用しやすい環境の整備に努め、健全な育成と交流の拠点となるように努める。 区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。 健康生活の支援と文化的生活の向上に寄与し、心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。 町会等の地域活動の支援を積極的に行う。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>新設館であるが、各世代とも安定した事業運営を行うことが出来た。親子ふれあいひろばでは、12時から13時までの間親子で食事ができるようテーブルを準備した幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境を作った。また、児童事業では荒川区のバスケットチームの方の指導によるスポーツサークルや、高齢者の方々の協力による園芸活動など、多世代交流や地域の方々との交流に力を入れた。 中高生事業については青少年の健全な育成と交流の拠点となるよう努めた。 高齢者事業では石浜ひろば館の事業を引き継ぎ、安定した運営を行った。</p>		
世代別入館者数	25年度新設館のため前年度実績なし	
幼児	4,831名	
小学生	8,876名	
中学生	1,129名	
大人(高校生含)	4,810名	
内：高校生	54名	
内：18歳以上	4,756名	
高齢者	4,399名	
総入館者数	24,045名	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算			43,802,275	44,564,444
	決算			43,802,275	
支出	予算			43,802,275	44,564,444
	決算			40,374,092	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	3,428,183	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理		A
2 区民サービス・利用者意見		A
3 危機管理・苦情・事故等の対応		A
4 収支状況・縮減努力		A
5 法人決算		A
6 労務		A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	町会や老人会の方を招いて定期的に意見交換を行うほか、区内有識者の協力を得て講座を開催した。	
・区内事業者の活用	空調設備保守点検を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成25年3月31日現在、常勤2名、非常勤1名、計3名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、障害者の雇用は1.58%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関しての取組	日々節電を心がけた。また創作等でペットボトルや牛乳パック、トイレトーパーの芯等をつかったリサイクル工作を行った。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社日本デイケアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿マインズタワー18階
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,168.96㎡（防災備蓄倉庫・消防団施設を含む） 延床面積 1,419.15㎡（専用） （1階585.67㎡、2階515.82㎡、3階328.25㎡、塔屋36.01㎡） 施設内容 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室・相談室、和室1・2 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…音楽室、洋室1・2 塔屋…屋上広場（152㎡） その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>乳幼児・児童・青少年・成人・高齢者のあらゆる世代の人々が気軽に利用でき、ふれあいと交流を持てる地域の拠点となる施設作りを目指す。 保護者が楽しんで子育てできるような環境を整え、乳幼児の健全な育成を支援する。 児童に健全な遊びや交流等の機会を提供し、健康な体と豊かな心を創り上げる事業を行う。 中高生の非行や孤立を防止できるよう居場所の提供を行い、健全育成を支援する。 成人（高齢者を含む）を対象にスポーツや趣味講座を開催し、新たな活動に発展できるよう支援する。 高齢者が生きがいを持って積極的に社会参加ができるよう支援する。 乳幼児から高齢者までの利用者・地域住民・町会等が一体となって交流を深められるよう機会を提供する。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>乳幼児タイムの他、ママリフレッシュ、ベビーミュージック、プール開放等の事業を実施した。デイキャンプ、わくわくまつりなどの大型行事以外でも普段から子どもが興味を持ちそうな創作のプログラムを提供した。各世代が協力して「南千住わくわくまつり」を開催した。「交流ご長寿マーケット」では小学生と高齢者との交流を行った。また、瑞光小学校の仕事体験を受け入れ、乳幼児親子との交流を行った。 南千住地区の各会議への参加と行事の手伝い（なかよしまつり、わくわくまちあるきたんけん隊、凧揚げ大会、天王祭等）を行い、南千住地域の理解に努めた。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数	
幼児	11,692名(10,510名)	
小学生	14,372名(14,782名)	
中学生	3,459名(2,583名)	
大人(高校生含)	14,956名(12,867名)	
内：高校生	219名(48名)	
内：18歳以上	14,737名(12,819名)	
高齢者	14,978名(13,354名)	
総入館者数	59,457名(54,096名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算		45,078,573	45,637,640	46,494,347
	決算		45,181,292	45,813,635	
支出	予算		43,373,704	45,637,640	46,494,347
	決算		43,161,902	48,024,501	
収支	予算	0	1,704,869	0	0
	決算	0	2,019,390	-2,210,866	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	幼児事業として、隣接する特別養護老人ホーム「グリーンハイム」に親子で訪問し、踊りやプレゼントを渡すなど交流を行った。	
・区内事業者の活用	自家用電気工作物保守委託及び壁面緑化パネル保守点検を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、非常勤5名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.21%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関する取組	節電及び節水を職員に周知し、照明器具の間引きや空調温度設定など積極的に取組みを行った。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であるが、経費節減努力が求められる。また指定管理者であるテンプスタッフ・ウィッシュ株式会社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2F
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号 NSビル4F
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 アクレスティ南千住内 延床面積 1,037.45㎡(専用) (2階394.37㎡ 3階583.51㎡) 施設内容 2階…サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、事務室 3階…創作室、プレイルーム、和室、洋室1・2・3・4 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>幼児タイム等の事業を行うとともに、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境をつくる。また、子育て支援活動として、子育て相談を行う。 多くの子供たちが参加できるような、サークル活動や行事を実施し、子供たちの交流を図る。 使用方法を工夫し、遊具をそろえる。 中高生の健全な育成と交流の拠点の場となるよう努める。 中学生の職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。 区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。 地域住民が気軽に集えるように昼食時に会議室を開放し、交流支援を行う。</p>		
平成25年度の実績		
<p>親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境を作った。多くの子どもたちが参加できるようなサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図った。 中高生の健全な育成と交流の拠点となるよう努めた。 区民相互の交流と自主的活動促進の援助を行った。各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や、余暇の充実が図られるように支援した。 地域住民や高齢者が気軽に集まれるよう、昼食時に会議室を開放し、交流の支援をした。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数	
幼児	7,775名(9,882名)	
小学生	14,065名(14,052名)	
中学生	1,366名(1,698名)	
大人(高校生含)	12,664名(13,198名)	
内：高校生	295名(6名)	
内：18歳以上	12,369名(13,192名)	
高齢者	10,930名(12,346名)	
総入館者数	46,800名(51,176名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	39,993,678	40,043,678	40,053,678	41,249,497
	決算	39,993,678	40,043,678	40,053,678	
支出	予算	39,993,678	40,043,678	40,053,678	41,249,497
	決算	33,102,767	35,205,579	38,148,864	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	6,890,911	4,838,099	1,904,814	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A-	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	町会や社会福祉協議会と共催で「粋・活サロン」を開催した。	
・区内事業者の活用	電気設備点検や清掃を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、非常勤2名の区内職員を雇用した。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.58%であった。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関しての取組	ペットボトルや牛乳パック等を用いたリサイクル工作教室を開催した。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であるが、経費節減の努力が求められる。また、指定管理者である株式会社日本デイケアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、労務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 汐入小学校内 延床面積 1,237.38㎡ (1階55.06㎡ 2階762.49㎡ 3階419.83㎡)</p> <p>施設内容 2階…サロン、多目的室、和室、図書室、事務室 3階…創作室、プレイルーム、学童クラブ室、洋室、親子ふれあいひろば その他…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>乳幼児を育てている母親たちが集い、交流し、子供たちとの関わりを楽しみ、子育ての情報交換や悩み相談の出来る場と活動を提供し、子育てを支援する。 家庭や学校とは異なる環境において異年齢の交流を大切に、子供の生きる力や社会性を培っていく。 中高生事業として、他者との関係を広げながら、その関わりの中かで、自立への力を積み重ねるようにしていく。 世代間交流事業では、日々の活動、行事等を積極的に活用し、地域の方同士、また、子ども達との交流が深まるようにしていく。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>乳幼児プログラムについては、汐入地域に待機児童が多い地域事情を鑑みて、新生児から年長児まで、各年齢別にクラスを設置した。また育児をしているお母さんたちが集い、交流し、子どもたちとの関わりを楽しみ子育ての情報交換や悩みを相談できる場と活動を提供するため、「ランチコーナー」を常設し、ふきんやミルク用のお湯を提供した。 成人・高齢者事業については、地域の人々と共に世代間交流を中心に活動を作り、「絵手紙教室」では対象を小学生からとし、世代間交流を促した。 地域における高齢者クラブ等の各種サークル活動の支援については、活動毎にお茶のサービスを行い利用者同士の交流の場を設けるなど、力を入れた。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数	
幼児	15,493名(13,857名)	
小学生	29,844名(32,417名)	
中学生	2,689名(4,620名)	
大人(高校生含)	20,371名(17,787名)	
内：高校生	120名(392名)	
内：18歳以上	20,251名(17,395名)	
高齢者	7,284名(7,506名)	
総入館者数	75,681名(76,187名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	41,309,573	41,309,573	41,309,573	42,505,552
	決算	41,310,826	41,311,912	41,309,573	
支出	予算	41,309,573	41,309,573	41,309,573	42,505,552
	決算	38,450,311	40,890,422	40,568,771	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	2,860,515	421,490	740,802	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A-	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	南千住地域なかよしまつり等、地域行事、公的な行事等へ積極的に参加した。	
・区内事業者の活用	消防設備保守点検及び冷暖房機保守点検を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、非常勤1名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.05%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関する取組	子供服リサイクルを実施した。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人雲柱社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、財務面および労務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区池袋三丁目1番2号
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,283.89㎡ 延床面積 1,767.90㎡ (1階494.35㎡ 2階543.14㎡ 3階710.86㎡ 塔屋19.55㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、親子ふれあいひろば、授乳室、事務室 2階…音楽室、和室1・2、洋室1・2、調理・会議室 3階…多目的室、創作室、プレイルーム、相談室、学童クラブ室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>荒川地域のふれあい館として関係各所や地域との連携を深める。 乳幼児事業は母親支援に重点を置いて、児童館ガイドラインに沿って事業を進める。 児童事業は児童福祉の観点から遊びと生活の場を提供する。特に支援が必要な子に関しては子ども家庭支援センターや児童相談所と連携して進める。 中高生事業は館内だけでなく、地域社会へ活動の場を広げられるように支援していく。 成人事業・高齢者事業は生涯学習のきっかけとなる活動を行う。</p>		
平成25年度の実績		
<p>乳幼児事業については、0歳児と1歳児前半の事業が特に好評であった。また、今年度からお母さん向けに子どもを連れて参加できるピラティスやベリーダンスのサークルを実施し好評を博した。 児童事業に関しては、概ね実施できた。9月から実施した小学生向けのダンスサークルが人気であった。 中高生事業は、バンド、工作室の開放、ボードゲームやレンタルスペース事業などの実施により利用者が増えた。キンボールクラブでは荒川区民大会で優勝するという好成績を収めた。また、中高生街づくり会議も行い、地域の方々と交流した。 成人及び高齢者事業については、介護予防サポーター講座（初級）が好評であった。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数	
幼児	11,912名(14,963名)	
小学生	19,126名(10,762名)	
中学生	3,325名(4,108名)	
大人(高校生含)	22,530名(26,748名)	
内:高校生	3,109名(2,746名)	
内:18歳以上	19,421名(24,002名)	
高齢者	25,411名(20,355名)	
総入館者数	82,304名(76,936名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	45,600,998	45,509,998	46,162,153	48,531,692
	決算	45,195,352	45,502,216	46,162,153	
支出	予算	45,600,998	45,509,998	46,162,153	48,531,692
	決算	40,891,993	41,615,012	42,235,681	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,303,359	3,887,204	3,926,472	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	峡田小PTAが主催する納涼大会に峡田ふれあい館としてブースを出した。	
・区内事業者の活用	清掃、消防用設備保守点検及び自家用電気工作物保守等を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤1名、非常勤1名、計2名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は2.04%である。	
・環境やエコに関しての取組	不要な照明を消灯するなど、積極的に取り組んでいる。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である特定非営利活動法人ワーカーズコープは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、財務面および労務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 665.77㎡ 延床面積 1,230.26㎡ (1階410.68㎡ 2階410.68㎡ 3階383.83㎡ 屋上 25.07㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、事務室、和室1・2 2階…洋室1・2、創作室、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、茶室 3階…多目的室 屋上…屋上庭園 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>子育て世代のリフレッシュ講座や子育て支援講座等を通じて、親子で楽しく利用できる場、子育ての情報が得られる場を提供する。 青少年の多目的室利用時間の拡充と自主サークルの支援の場を提供する。 児童が安全・安心に過ごせる場の提供と自主的サークルの支援の場を提供する。 地域の高齢者の健康促進事業、交流事業、一人暮らしの高齢者の閉じこもり防止事業を展開する。 パソコン操作を取得できる講座や気軽に相談できる「相談室」を常時開催する。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>毎年4月に開催の「チューリップ鑑賞会」は館事業として定着し、毎年多くの地域の方々に楽しんでいただいた。</p> <p>月2回実施している「ミニテニス教室」は世代を超えて好評で、中高生・成人・高齢者がともに楽しみながら身体を動かした。また、館独自の事業として「カローリング」を実施して、多くの参加者を得た。</p> <p>「じいじ・ばあばとあそび」は児童と高齢者の交流事業であり、区内の他館でも実施されているが、「じいじ・ばあばと踊ろう」等、既存の事業を様々なアレンジして数種類の事業に発展させた。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年の来館者数	
幼児	10,669名(9,937名)	
小学生	6,732名(6,214名)	
中学生	1,523名(1,372名)	
大人(高校生含)	13,371名(12,691名)	
内：高校生	690名(1,080名)	
内：18歳以上	12,681名(11,611名)	
高齢者	15,255名(14,084名)	
総入館者数	47,550名(44,298名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	44,472,028	44,423,028	44,726,018	46,167,166
	決算	46,086,597	44,957,228	45,175,600	
支出	予算	44,472,028	44,423,028	44,726,018	46,167,166
	決算	46,086,597	44,957,228	44,989,321	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	186,279	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	B-	A-
5 法人決算	B-	B-
6 労務	A	A-
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	荒川地域「にこにこ文化祭」に参加して他施設や地域との交流を深めた。	
・区内事業者の活用	消防用設備保守点検及び空調設備保守点検を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤3名、非常勤4名、計7名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体で障害者を雇用していない。障害者雇用が適用される事業規模ではないが、可能な限り努力していく。	
・環境やエコに関しての取組	屋上でチューリップを栽培した。また、不用品などを活用する交換会として、リサイクルひろばを開催した。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、会計手続に一部不備が見受けられたが、指摘事項は解決あるいは改善済みである。予算精度の向上が求められる。また、指定管理者である特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会は、三期連続収支差額赤字、債務超過状態であり、安定的・継続的な運営に支障をきたすことが懸念される財務内容であるものの、事業者は改善計画に取り組んでおり、引き続き改善努力をすることにより、改善の見込みがあると判断する。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、既に改善されている。

[総合評価]

サービス面、労務面は良好であった。一方で財務面について一部課題があり、改善の必要があるが、全体として指定管理業務は確実に行われたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人 雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,333.74㎡ 延床面積 1,496.30㎡ (1階507.75㎡ 2階518.13㎡ 3階470.42㎡) 施設内容 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2 2階…プレイルーム、創作室、窯室、音楽室、洋室、授乳室・相談室 3階…多目的室 屋上…屋上庭園 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>この地域で長きにわたって培ってきた利用者のニーズを継承し、さらに地域に根差した事業を展開していく。地域における乳幼児子育ての支援活動を拡大する。 子どもたちに健全な遊びを提供し心身の育ちを支援する。 中高生の居場所づくりと余暇活動を支援する。 地域の人々の交流を助け、諸活動を支援します。 高齢者の諸活動を支援し、交流を広げる。 地域の方々から発信企画されたものを、諸活動として実現できるように支援する。</p>		
平成25年度の実績		
<p>平成24年度に開館し2年目を迎え、町屋地域の方々に子育て拠点の1つとしてより一層認知を得ることができた。地域に3箇所ある小学校から児童利用があるが、スポーツ事業等と通じて異学年交流、学校間交流の良き場となっている。</p> <p>町会主催の夕涼み会や盆踊りの出し物など、様々な形で地域に対して交流を働きかけた。地域の盆踊りの出し物のお手伝い等の形で参加した。</p> <p>ころばん体操や健康ストレッチやカラオケ・合唱など、心と体の健康増進のために施設の利用を促した。特にヨガ教室は人気があった。また今年度「健康青竹体操」を新たな事業として取り入れ、好評を博している。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年の来館者数	
幼児	9,077名(8,581名)	
小学生	10,842名(13,108名)	
中学生	4,033名(2,888名)	
大人(高校生含)	8,458名(9,591名)	
内：高校生	50名(188名)	
内：18歳以上	8,408名(9,403名)	
高齢者	8,687名(4,198名)	
総入館者数	41,097名(38,366名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算		45,385,038	46,461,005	48,032,570
	決算		45,385,038	46,461,005	
支出	予算		45,385,038	46,461,005	48,032,570
	決算		45,400,856	44,316,297	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	-15,818	2,144,708	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	B	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	青少年育成町屋地区委員会会合の会場提供や、町会夕涼み会の後援等を実施した。	
・区内事業者の活用	空調設備保守点検及び壁面緑化パネル保守点検を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、非常勤8名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、障害者の雇用は1.05%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関しての取組	電力需要の高まる夏季の陶芸事業では、閑散期となるお盆前後に、利用者の理解と協力のもと一時休業するなど工夫を図った。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人雲柱社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、財務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要

施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社 大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区町屋五丁目10番9号
施設開設年月日	平成16年10月26日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成16年10月26日	
指定期間	平成25年4月1日～平成28年3月31日	
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 783.58㎡ 延床面積 1,215.43㎡ (1階525.91㎡ 2階282.18㎡ 3階363.53㎡ 屋上 43.81㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、事務室 2階…創作室、プレイルーム、調理・会議室 3階…和室1・2、洋室1・2、音楽室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成25年度の事業計画

遊びや様々な活動において必要な「出会い」を提供し、集まった人々が「交流」につながるプログラムを提供することで地域全体で地域住民をサポートし合える信頼関係作りを行い、地域の方々に地域の一員として認知してもらええる施設作りを目指す。

交流を通じて集まった自主グループに施設を活用してもらうことは、近隣地域住民（町会、民生委員等）に限らず徐々に地域を拡大していく。地域住民との関係作りには「荒木田ふれあいまつり」を活用する。

児童事業、高齢者事業及び世代間交流事業の充実を図る。

平成25年度の事業実績

ふれあい館の役割を子育て支援と位置づけ、地域の社会資源や地域ボランティア等の人的資源を活用し、乳幼児タイムを実施した。また、くまさんタイム、出張育児相談会、おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶの活動では定期的に更生保護女性会の協力を頂いた。

今年度は「布夢彩画教室」「着付け教室」「シニアのソシアルダンス教室」などの新規事業を実施した。また、行事等によるものだけでなく、サロンスペースの掲示板やチラシを利用して、常時ボランティアを募集し、地域住民や事業参加者と交流した。

定期的に、子ども会議、アンケート調査、投書箱など、世代別に利用者の事業に対する要望やクレームを吸い上げる場と機会を設け、可能な範囲で事業に反映させた。

世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数
幼児	10,881名(10,558名)
小学生	17,365名(17,208名)
中学生	2,417名(1,839名)
大人(高校生含)	20,966名(20,260名)
内:(高校生)	2,282名(1,205名)
内:(18歳以上)	18,684名(19,055名)
高齢者	9,809名(10,244名)
総入館者数	61,438名(60,109名)

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	44,858,233	44,827,233	45,178,988	46,653,735
	決算	44,858,233	44,827,223	45,178,988	
支出	予算	45,898,720	44,827,233	45,178,988	46,653,735
	決算	44,590,853	44,679,070	45,000,656	
収支	予算	-1,040,487	0	0	0
	決算	267,380	148,153	178,332	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A-	A-
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	社会福祉協議会や近隣小中学校から寄せられるボランティア活動や職場体験等の要請を受け入れた。	
・区内事業者の活用	消防用設備保守点検や定期清掃等を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤1名、非常勤4名、計5名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は2.31%である。	
・環境やエコに関しての取組	牛乳パックでペン立てを作る工作講座などを実施した。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であり、経費節減の努力も行っている。また、指定管理者である株式会社大起エンゼルヘルプは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、既に改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、財務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区池袋三丁目1番2号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 741.17㎡ 延床面積 2223.88㎡ (1階501.26㎡ 2階489.11㎡ 3階473.31㎡ 4階506.88㎡ 5階231.79㎡ 6階 21.53㎡)</p> <p>施設内容 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室・相談室、 2階…学童クラブ室、プレイルーム、創作室 3階…和室1・2・3、洋室1・2・3 4階…レクホール、多目的室 5階…調理実習室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>乳幼児事業は親子で楽しみ他の親子と交流が持てる事業を運営する。また、子育てに関する情報や、地域の情報等を発信していく。 児童事業は運動を中心にして異なる年齢の子どもたちが楽しく集団遊びができるようにし、情操が豊かになるような支援をしていく。 高齢者事業は小台橋ひろば館と宮ノ前ひろば館から継承した事業を受け継ぎ、これまで以上に世代間の交流に力を入れた事業を展開していく。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>尾久ふれあい館は、施設規模、来館者数ともに区内最大であり、特に高齢者事業を豊富に実施している。利用者の意見に答える形で事業を展開しており、昨年度は身体を動かす事業が少ないとの意見があったため、新たに「グランドゴルフ」を開始したところ、利用者にとっても好評であった。 また世代間交流に力を入れており、高校生と乳幼児と保護者、高齢者と小学生など一緒にふれあえる素地を作った。 地域とは、学校の入学式や卒業式に列席したり、ボランティアの受け入れに協力した。また町会や商店街と一緒に祭りや夜回りなどに参加した。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数	
幼児	11,108名(12,980名)	
小学生	20,233名(22,031名)	
中学生	2,555名(1,713名)	
大人(高校生含)	30,021名(27,898名)	
内：高校生	1,182名(836名)	
内：18歳以上	28,839名(27,062名)	
高齢者	37,421名(34,762名)	
総入館者数	101,338名(99,384名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算		46,845,898	47,842,628	49,098,280
	決算		46,835,813	47,842,628	
支出	予算		46,845,898	47,842,628	49,098,280
	決算		42,198,761	47,806,361	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	4,637,052	36,267	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	町会の交通安全や夜回りに参加した。	
・区内事業者の活用	空調設備保守点検や定期清掃等を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤1名、非常勤1名、計2名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は2.04%である。	
・環境やエコに関する取組	節電・節水を職員に周知した。また不要な電気は消すよう徹底した。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である特定非営利活動法人ワーカーズコープは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 777.68㎡ 延床面積 1,189.16㎡ (1階415.86㎡ 2階415.86㎡ 3階357.44㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2、事務室 2階…創作室、プレイルーム、学童クラブ室、洋室1・2 3階…多目的室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>幼児タイム等の事業を行うとともに親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境をつくる。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受けることのできる場を設ける。多くの子供たちが参加できるような、サークル活動や行事を実施し、子供たちの交流を図る。</p> <p>使用方法を工夫し、遊具をそろえる。 中高生の健全な育成と交流の拠点の場となるよう努める。 中学生の職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。 区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。 ふれあい館の特性を生かし、世代間交流の機会をできる限り設定する。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>乳幼児やその保護者が友だちとの遊びでふれあうことの楽しさを体験し、交流する場を提供した。また、子育てに関する情報提供や育児相談等も保健師、主任児童委員、民生委員、地域ボランティアと連携を図り活動を展開した。</p> <p>児童の事業では、地域の高齢者施設「希望の家」に年3回訪問し、ゲーム大会やダンスの発表を通して施設利用の高齢者との交流を図った。</p> <p>中高生は学年が異なる生徒同士が交流できるよう配慮し、新高校生が新中学生のためにカレーをつくり一緒に会食したり、バドミントンや卓球を行った。</p> <p>高齢者事業では、年間を通じ「踊り」「ダンス」「合唱」「民謡」「詩吟」等の定例活動のほか、高齢者同士が親睦を図れるよう「大人の遠足」等を企画した。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年入館者数	
幼児	15,949名(10,557名)	
小学生	12,191名(11,678名)	
中学生	2,400名(3,215名)	
大人(高校生含)	16,515名(13,634名)	
内:(高校生)	649名(778名)	
内:(18歳以上)	15,866名(12,856名)	
高齢者	10,652名(11,650名)	
総入館者数	57,707名(50,734名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	44,699,935	44,646,935	45,022,522	47,175,817
	決算	44,699,935	44,646,935	45,022,522	
支出	予算	44,699,935	44,646,935	45,022,522	47,175,817
	決算	37,217,947	42,469,788	40,959,715	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	7,481,988	2,177,147	4,062,807	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	町会、民生委員、更生保護女性会の方々等を交え運営協議会を年2回開催した。	
・区内事業者の活用	消防用設備保守点検及び電気設備保守点検を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤2名、非常勤3名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.58%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関する取組	牛乳パックやペットボトルキャップ、新聞紙等を使ったエコ工作を取り入れた。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であり、経費節減の努力も行っている。また、指定管理者である株式会社日本デイケアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人 道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 5,814.86㎡ 延床面積 1,176.87㎡ (1階573.65㎡ 2階603.22㎡) 施設内容 1階…サロン、和室1・2、洋室1・2、音楽室、事務室 2階…創作室、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、学童クラブ室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供する。 乳幼児と保護者が安心して、のびのびと利用できる場所・活動を計画する。 児童に遊びを通して、異年齢の児童や他校の児童との交流を深める。 中高生が小学生の手本となり、リーダーシップをとれるような事業を計画する。 成人を対象に利用者の意見を取り入れ、魅力的な事業を展開する。 高齢者に各種事業を通して、「仲間作り」や「生きがい」創出を支援し、高齢者の生活や教養の質の向上を目指す。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>事業内容の見直しや充実を図り、実施可能な事業に積極的に取り組んだ。 幼児タイムでは参加希望者が多いことから、実施クラスを増やしてできる限り多くの希望者が参加できるようにするなど、利用者のニーズを意識した事業を実施した。また、利用者との信頼関係の構築に向け、積極的な挨拶や丁寧な案内を心がけ、より過ごしやすいふれあい館を目指した取り組みを行った。 震災を想定した避難・誘導訓練を継続して実施した。また、自治会の防災訓練にも参加して地域との災害対策の連携を強化した。 平成24年度の都営住宅火災の影響で一時的に閉館を余儀なくされたが、地域住民や利用者との信頼関係のもと、来館者数は順調に回復し閉館前を超える水準になっている。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年の来館者数	
幼児	12,680名(10,883名)	
小学生	20,135名(16,670名)	
中学生	618名(585名)	
大人(高校生含)	15,144名(12,380名)	
内：高校生	50名(122名)	
内：18歳以上	15,094名(12,258名)	
高齢者	6,658名(6,416名)	
総入館者数	55,235名(46,934名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	44,654,238	44,568,238	44,832,264	46,291,078
	決算	44,654,238	44,467,843	44,832,264	
支出	予算	44,654,238	44,568,238	44,832,264	46,291,078
	決算	44,512,129	44,434,638	43,987,397	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	142,109	33,205	844,867	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	A-
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	地域の町会やボランティアの協力を得て行事を実施した。	
・区内事業者の活用	床面清掃やピアノ調律等を区内事業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤2名、非常勤2名、計4名の区内職員を雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.02%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関する取組	不要な照明の消灯や蛍光灯の間引き点灯、エアコンの温度設定の配慮等を行った。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である学校法人道灌山学園は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、既に改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、財務面および労務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1966.77㎡ 延床面積 1570.0㎡(専用) (3階831.35㎡、4階738.65㎡)</p> <p>施設内容 3階…事務室、サロン、創作室、プレイルーム、親子ふれあいひろば、授乳室、洋室1・2、和室1・2、備蓄倉庫 4階…多目的室、レクリエーションホール その他附属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>事業計画は以下の5本柱をもとに体系化する。</p> <p>「区民の幸福実感と地域活性化を推進する、日暮里地区の拠点施設となる」…荒川区基本構想、基本計画等の方向性に沿って、地域の区民の幸福実感と地域の活性化に寄与する施設を目指す。</p> <p>「『歴史と文化、布の街、ものづくりの街』日暮里の魅力を学び発信する施設をつくる」…地域の区民が日暮里の歴史への興味と理解を深め、荒川区への愛着と誇りを感じることが出来る事業に取り組む。</p> <p>「区内初の保育園併設ふれあい館の特色を生かす施設運営を目指す」…法人のノウハウを生かし、ふれあい館と保育園との合同行事やふれあい館利用者と園児による会食会を行う。</p> <p>「地域の団体やサークル活動を支援し交流拠点となる開かれた施設運営を目指す」…施設の利便性や快適性を向上させ、新たな利用者の獲得やリピーターの拡大を図る。</p> <p>「3A(安全・安心・明るい) 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)が行き届いた施設運営を目指す」…利用者の安全・安心を最優先とし、明るく誠実なおもてなしの心をもって対応する。また、危機管理マニュアルに基づき、非常時の備えに万全を期す。</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>日暮里の街への愛着をもってもらうため成人・高齢者を対象に「この街いい気分」というウォーキング事業を実施した。中高生へ向けては多目的室を開放する「中高生タイム」を実施した。乳幼児に向けては親子のふれあいをテーマにリトミックや読み聞かせ、運動遊びを取り入れた幼児タイムを実施した。児童に向けてはこままわしやけん玉などの伝承あそびの検定を実施し、世代間の交流を促進した。</p>		
世代別入館者数	25年度新設館のため前年度実績なし	
幼児	9,342名	
小学生	17,262名	
中学生	2,297名	
大人(高校生含)	10,483名	
内：高校生	182名	
内：18歳以上	10,301名	
高齢者	7,727名	
総入館者数	47,111名	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算			46,060,288	48,751,220
	決算			46,096,580	
支出	予算			46,060,288	48,751,220
	決算			46,096,580	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目		前年度評価	今年度評価
1	適切な施設運営・維持管理		A
2	区民サービス・利用者意見		A
3	危機管理・苦情・事故等の対応		A
4	収支状況・縮減努力		A-
5	法人決算		A
6	労務		A
7	地域との関わり等		
	・地域との協働内容	職員が中心となり、地域行事等へ積極的に参加した。	
	・区内事業者の活用	消防用設備保守点検や空調設備保守点検を区内業者に委託している。	
	・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤2名、非常勤8名、計10名の区内職員を雇用している。	
	・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は0%である。引き続き、障害者雇用に向けての努力を求めている。	
	・環境やエコに関しての取組	不要な照明を消灯するなど、積極的に取り組んでいる。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続は概ね適正であるが、予算精度の向上及び経費節減の努力が求められる。また、指定管理者である社会福祉法人教信精舎は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人 道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 776.20㎡ 延床面積 1,261.63㎡ (1階424.76㎡ 2階415.35㎡ 3階401.63㎡ 屋上 19.89㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、和室1・2、事務室 2階…創作室、プレイルーム(親子ふれいひろば)、洋室1・2、音楽室 3階…多目的室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、壁面緑化パネル</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供する。 乳幼児と保護者が安心して、のびのびと利用できる場所・活動を計画する。 児童に遊びを通して、異年齢の児童や他校の児童との交流を深める。 中高生が小学生の手本となり、リーダーシップをとれるような事業を計画する。 成人を対象に利用者の意見を取り入れ、魅力的な事業を展開する。 高齢者に各種事業を通して、「仲間作り」や「生きがい」創出を支援し、高齢者の生活や教養の質の向上を目指す。</p>		
平成25年度の実績		
<p>地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するため、区民や地域住民に向けて、ふれあい館の役割や活動の周知・理解を促した。特にダンスサークルの「JUMP」は、区内外の方から高い評価を受けており、館を代表する事業に成長した。 地域住民や自治会等との交流を積極的に行い、総会等での貸室利用を促進するといった地域イベントへの参加・協力も行った。 区が実施する事業に、会場の提供等の協力を行った。日暮里地域演芸会では舞踊やダンス等の発表、カラオケや詩吟等の発表に参加した。にっぽりタヤけ文化祭では作品展、ダンス発表、成人や高齢者との交流会に参加した。</p>		
世代別入館者数	カッコ内は、昨年の来館者数	
幼児	16,852名(17,391名)	
小学生	8,272名(10,244名)	
中学生	736名(1,409名)	
大人(高校生含)	22,522名(20,995名)	
内：高校生	312名(81名)	
内：18歳以上	22,210名(20,914名)	
高齢者	7,991名(7,899名)	
総入館者数	56,373名(57,938名)	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	44,502,843	44,467,843	44,706,721	46,724,021
	決算	44,502,843	44,467,843	44,706,721	
支出	予算	44,502,843	44,467,843	44,706,721	46,724,021
	決算	44,081,423	44,434,638	44,316,152	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	421,420	33,205	390,569	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	A-
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	地域の町会との協力関係の向上に努めた。また、西日暮里保育園と連携した事業を実施した。	
・区内事業者の活用	床面清掃やピアノ調律を区内業者に委託している。	
・区民の雇用	平成26年3月31日現在、常勤2名、非常勤3名を区民から雇用している。	
・障害者雇用率	平成25年6月1日現在、法人全体での障害者雇用率は1.02%である。引き続き、法定雇用率達成に向けての努力を求めている。	
・環境やエコに関しての取組	不要な照明の消灯やエアコンの温度設定の配慮等を行った。	

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、昨年度に引き続き、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安全・安心に施設を運営できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である学校法人道灌山学園は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。なお、一部の書類管理に不十分な点があったが、既に改善されている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年度と比較して、財務面および労務面において改善がされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署 部 区民生活部 課 地域振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川7-20-1
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川7-20-1
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習・文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場

平成25年度の事業計画

- ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。
- ・カルチャー講座では絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。
- ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できるなないろひろば・一日文化体験フェア等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りをする。
- ・25年度は、年2回のアンケートのほか、意見箱・懇談会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。
- ・社会教育関係団体等を対象とする施設利用料・その他の付帯設備利用料及び利用料の減額は24年度の額と同様とする。
- ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。
- ・職員研修を実施する。

平成25年度の事業実績

- ・カルチャー講座では638講座を実施し、受講者数は6,136人であった。
- ・25年度は自主事業として「なないろひろば」「一日文化体験フェア」等を開催し、コンサート・スタンプラリー・箱根駅伝写真展など、講座の受講者募集のみならず、幅広い年代層の区民に親しんでいただけるよう努めた。
- ・社会教育関係団体等を対象とする施設利用料・付帯設備利用料及び利用料の減額は平成24年度の額と同様とした。
- ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施した。
- ・25年度は、朝礼等で職員及び再委託先の情報共有に努め、サービスの向上を図った。

施設決算状況

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	36,608,138	36,207,000	36,207,000
	決算	36,291,650	37,130,517	37,164,284
支出	予算	36,608,138	36,207,000	36,207,000
	決算	34,793,793	36,949,645	36,869,599
収支	予算	0	0	0
	決算	1,497,857	180,872	294,685

(備考)

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A-	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A-
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関する取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「バラの市盛り上げ隊」に参加し、バラの市に合わせてバラの写真展や花の展示を行う等、地域行事に協力している。「1日文化体験フェア」への地元事業者の参加を促す等、事業実施に当たり地域との連携を図った。「なないろひろば」や「1日文化体験フェア」等で、利用者以外の区民の来館を促進したほか、街なか避暑地等に協力した。 ・ 25年度は12の再委託業務のうち7業務について区内の業者に再委託した。また、修繕や消耗品の購入等においても区内業者に配慮している。 ・ シルバー人材センターの活用等を図っている。 ・ 雇用者数が少人数であるため、障害者の雇用は現状では困難であるが、雇用できる体制づくりに努力していく。 ・ 利用のない時間帯は消灯・減灯する等、節電に配慮しているほか、一部にLED照明を導入した。コピー用紙は古紙パルプ配合率80%以上のものを使用する等、環境配慮に努めている。夏季の緑のカーテンやエコキャップ回収ボックスの設置等の取り組みについては、継続して実施した。
--	--

総評

・ 施設利用者の意見を集約し反映させるため、施設利用及び職員対応等に関するアンケートを年に2回実施し、利用者のニーズの把握と迅速な対応に努めている。アンケート結果を踏まえて、利用者懇談会を開催したり、再委託先職員の接遇を改善する等の成果があった。

・ 区民が気軽に参加できる「1日文化体験フェア」や、コンサートや落語、講演会など多彩な内容の催しに無料で参加できる「なないろひろば」等の自主事業により、これまで町屋文化センターを利用したことがない区民の来所を促すなど、利用者層の拡大を図っている。

・ 指定管理事業、自主事業を通じて、生涯学習や芸術文化鑑賞、区民の交流の場の創出、利用率向上に向けて努力していると評価できる。

・ 全般的に施設の利用率は高く、事業実施に当たっては区民の活動を妨げない時期・時間帯に設定するなどの配慮が見られる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正である。また指定管理者である公益財団法人荒川区芸術文化振興財団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、接遇の改善や事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部署	部	地域文化スポーツ部	課	生涯学習課
--------	---	-----------	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川3-49-1
指定管理者	名称	(株)読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄1-2-1
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室(30人～80人)、音楽室(40人)、多目的室(60人)、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・「区民カレッジ」においては、募集を行うと数日のうちに満員になる盛況ぶりの反面、受講者層の固定化が見受けられた。要望の多い講座については、「シリーズ講座」化を検討し、一方で、荒川区周辺の歴史等をテーマにした新たな講座を企画をする等、受講者の開拓にも積極的に取り組むことで、より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する。 ・「IT講習会」は、「超初心者のパソコン」「基礎から始めるワード2010」「ワード2010の文書作成」というように段階的に学べるようにし、一人ひとりの受講者のニーズに適切に対応できるようにする。 ・日常の受付業務において、職員の研修・教育に力を入れるとともに、区民の要望を迅速かつ積極的に取り入れ、区民が信頼し安心して学べる環境づくりを行う。 ・施設の老朽化対策について、財政状況等を考慮しながら区民からの改善要望が多かった件を優先し改善していくことで、より安全で快適なセンターの実現を図る。 		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民カレッジについて、より幅広い区民に受講していただくため、新たな分野の講座を実施し、9講座中8講座において定員を超える申し込みがあった。年間受講者数は前年度よりも増加し3,580人となった。(講座実施数：54回) ・「IT講習会」については、一人ひとりの受講者のニーズに対応するために、段階的な講座構成にした。(51講座・受講者数9891人(延べ3,180人)) ・日常の受付業務において、事務室窓口のガラス戸を外し受付業務を行ったり、緑のカーテンで実ったゴーヤを、希望する区民に持ち帰ってもらったり、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めた。また一体感をもって職務に取り組むため、ユニフォームを作成した。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	62,300,000	62,454,000	64,764,000	
	決算	62,276,431	62,461,341	65,038,644	
支出	予算	62,300,000	62,454,000	64,764,000	
	決算	62,726,521	61,228,453	64,531,467	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-450,090	1,232,888	507,177	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	B+	B+
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A-
5 法人決算	A	A-
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ひろばを近隣の町会行事に提供するなど、地域活動の活性化に協力した。 ・修繕や消耗品の購入について、区内業者を積極的に活用するよう配慮した。 ・シルバー人材センターを活用したり、パート職員の採用にあたり区民を積極的に採用している。平成25年度3月末現在において、シルバー人材センターからの派遣職員6名を採用している。また、パート職員の約8割は区民である。 ・雇用者数が少人数である上シフト性を導入しているため、障害者の雇用は現状では困難であるが雇用できる体制づくりに努力していく。 ・省エネ効果の高い電球に取替えたり、エアコンの推奨設定温度の徹底を行っている。また緑のカーテンの実施や草花の手入れに力を入れるなど、区民や利用者に喜ばれるエコ活動を行っている。 	

総評

[サービス面の評価]

・区民カレッジにおいて、新たな分野の講座を実施し、また講座内容の改善・充実を図ったことにより、講座応募者数が前年度比24%増となった。このことは「より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する」という事業計画を実現したものと評価できる。

・利用者アンケート結果においては、受付対応については「非常に良い」「良い」との回答が前年より約27%増加、電話対応については「非常に良い」「良い」との回答が前年度より約21%増加しており、接遇が向上していると評価できる。

・事務所窓口のガラス戸を外し受付業務を行ったり、緑のカーテンで実ったゴーヤを区民に持ち帰ってもらうなど、利用者が親しみやすい関係づくりに努力していると考えられるが、防犯面からも、受付職員が積極的にあいさつや声掛けを行うよう、更なる改善を求めていく。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設管理事業の収支は黒字であるが、予算精度の向上が望まれる。また指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等概ね良好であるが、未収入金や未払金等の会計処理に改善を要する。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

財務及び労務面については良好であった。一方サービス面は、利用者対応の視点において、昨年度と比較して改善の努力がみられたが、あいさつや声掛けの徹底による更なる接遇の改善の見込みがあり、全体として指定管理業務が確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署 部 地域文化スポーツ部 課 生涯学習課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545-5
指定管理者	名称	ニッコクトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト
	所在地	東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4階
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等が行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳(ベッド)1室、 ・研修室洋間55㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室、リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育室 ・開設期間(平成25年度)：4月27日(土)～11月4日(月) 	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務(清里の気温や天気等のリアルタイム情報提供、利用者とのコミュニケーション向上等)、賄業務(食事選択の導入、特別料理の提供)、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・自主事業業務として、バスツアーを実施する。 ・施設周辺に小売店がないため、施設利用者の利便性を確保し利用者サービスの向上を図るため、清里高原ロッジ食堂内に、引き続き飲料やビール等の自動販売機を設置する。 ・広報活動(ホームページの開設、広報誌の発行)を実施する。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・清里の水で抽出した麦茶や地産牛乳、ヨーグルト、地産野菜のサラダバーの提供など、地元産にこだわったおもてなしを提供できた。また、アメニティは引き続き好評であった。 ・バスツアー(ハイキングツアー)を実施し、アンケートでも概ね高い満足度であった。 ・自然環境や動物に関する情報コーナーを設け、子どもたちをはじめ、大人の方も興味をもって見ている姿が目立っていた。 ・ホームページを見て施設を利用された方もあり、ホームページ開設の効果はあった。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	75,607,000	75,991,280	77,328,000	77,760,000
	決算	74,553,556	75,215,785	75,986,918	
支出	予算	75,607,000	75,991,280	77,328,000	77,760,000
	決算	73,586,368	75,914,991	75,877,938	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	967,188	-699,206	108,980	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	B+	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	B
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用者数の増加と地域との連携を強化するため、施設所在地の北杜市や関係機関に働きかけ、市内のイベントの情報や写真の提供を受けて、荒川区のホームページに掲載している。 ・ 施設所在地が山梨県北杜市のため、購買先や再委託先について区内業者に配慮することは難しい。地元での調達については配慮している。 ・ パート職員の採用にあたり、北杜市民を積極的に採用している。 ・ 雇用者数が少人数である上、雇用期間が半年のため、募集に対する障害者の応募はない状況である。 ・ 利用状況に応じた節電対策の実施、光熱水費等の経費削減に取り組んでいる。 	

総評

[サービス面の評価]

・ 開設から31年が経過していることに加え、寒暖の差が激しい気候条件のため、施設の劣化が進行しているが、開設前や日常清掃の徹底、食事選択制の導入や地産食材の提供等、丁寧なサービスを心がけており、良好なサービスが提供されていると評価できる。

・ 飲料の自動販売機や冷蔵庫の設置、浴衣や浴用セットの提供など、利用者からの要望に応じていると評価できる。

・ バスツアーを実施し、利用者アンケートでも高い満足をいただいております、利用者目線のサービスを提供できていると評価できる。

[財務・労務面の評価]

・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社ニッコトラストは、安定的・継続的な運営をしていく上で懸念があり、改善が求められる。

・ また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

・ サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、自主事業において内容が工夫され、適正な運営が行われている。

担当所管部署	部	地域文化スポーツ部	課	生涯学習課
--------	---	-----------	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住6-45-5
指定管理者	名称	TM共同事業体
	所在地	代表企業:株式会社東京アスレティッククラブ 中野区中野2-14-6
施設開設年月日		昭和60年6月2日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区教育委員会が必要と認める業務 	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に対する受付や料金徴収業務、スポーツ施設予約システムによる利用者登録手続きや予約代行業務、日常清掃業務や定期清掃業務の適切な実施をする。 ・温水プールやトレーニングルーム、卓球、バドミントンなどの個人利用の実施や、大小体育室の団体利用対応、スポーツ教室の実施、区主催イベントへの協力等を実施する。 ・利用者のニーズを把握するためのアンケートを実施し、アンケートの結果を施設運営や教室事業に反映し、展開する。 ・高付加価値教室（少人数制・コミュニケーションノート付き等）やキッズルームの教室の新設や増設により利用の促進を図る。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・団体利用者数 243, 140人(前年度比 6, 576人) ・個人利用者数 143, 652人(前年度比 4, 622人) ・利用料免除者 57, 631人(前年度比 9, 938人) ・教室受講者数 147, 481人(前年度比 3, 816人) ・計 591, 904人(前年度比 24, 952人) <p> <教室・講習会>平成25年度 ①固定会員制教室 (スポーツ教室/16種類・1,092回) (水泳教室/10種類・2287回) ②自由会員制教室 (スポーツ教室/10種類・697回) (水泳教室/2種類・339回) ③キッズルーム教室 (13種類・992回) ④自主事業教室 (27種類・2,179回) </p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	250,106,981	250,954,808	251,430,823	252,742,496
	決算	241,238,480	245,023,359	259,276,915	
支出	予算	250,106,981	250,954,808	251,430,823	252,742,496
	決算	244,431,606	241,589,528	249,596,978	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-3,193,126	3,433,831	9,679,937	
(備考)					
・個人利用、教室等事業、キッズルーム利用による利用料収入等の増加により、収支差額の増加につながった。					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	B	B
5 法人決算	A	A
6 労務	B+	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区体育協会の理事会に参加し、区の体育団体と連携を取っている。 ・修繕に関しては、メーカーによる修繕や緊急の修繕を除き、区内事業者に発注している。25年度は、修繕費の4割程度が区内発注となり、製造元の指定以外は積極的に区内事業者を活用している。 ・職員（非常勤職員含む）のうち、23%程度が区民となり、指導の経験や技能を必要とされる職以外は、積極的に区民を雇用している。 ・施設の利用に不便をかけない方法で、電気、水道、ガスの使用量の節減を行った。震災前22年度の使用量と比較し、電気は31.9%、ガスは28.8%、水道は44.5%の節減を達成。 	

総評

[サービス面の評価]

開設から30年を迎え、施設の老朽化が進行しているが、限られた予算で利用者の安全、利便性を優先した修繕、管理を行っており、適切な施設管理を行っている。

運営においては、高付加価値教室の実施（少人数制、コミュニケーションノート付き等）や教室の増設、教室発表会の実施など、利用者のニーズに応じた事業展開を行い、教室受講者数は、昨年度比3,800人程度増加した。また、個人利用や団体利用も含む総利用者数も、25,000人程度増加しており、利用者増加への努力を評価できる。

今後は、更なる利用者増加とともに、キッズルーム使用をはじめとした子ども向け教室の充実、高齢者や障がい者スポーツの推進など、幅広い方々の利用の促進に期待したい。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理について、適切に経費計上されていない科目があったので、一部経費について改善を要する。

指定管理者であるTM共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面及び労務面は良好であった。一方で財務面は、「適切な会計手続がなされている」という視点において一部の経費について、適切に整理されていない科目があった。

しかし、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署 **部** 地域文化スポーツ部 **課** スポーツ振興課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養100名 ショートステイ10名</p>	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：目標稼働率94%、ショートステイ：目標稼働率120% ・日常の健康管理やインフルエンザ等の感染症予防を徹底することで入院日数の減少を図る。 ・ショートステイについては居宅支援事業所のケアマネージャーと連携を図ることで、新規利用者の確保に努める。 ・リハビリ機能の強化を図る。また、業務標準化を進め、安定したサービスの提供に努める。 ・利用者（家族）アンケートの実施により積極的に利用者等の意見を取り入れたサービス向上に努める。 ・家族との信頼関係構築の観点からケアカンファレンスへの家族参加率9割を維持する。 		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：稼働率90.4% 平均介護度4.0、ショートステイ：稼働率118.1% 平均介護度3.0 ・リハビリについては機能訓練指導員を中心として多職種協働による援助が実践できるようになった。特に、ケアワーカーのリハビリに対する知識向上が見られ、利用者へのリハビリ効果にもつながった。 ・ケアカンファレンスについては利用者及びその家族等が参加し計画どおり開催した。家族参加率は、概ね目標とした90%となり、施設サービスにおける限界とリスクを共有する場としても機能できた。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	463,477,000	463,401,000	460,554,000
	決算	456,473,547	448,071,512	448,184,057
支出	予算	457,877,000	457,441,000	457,594,000
	決算	447,356,489	442,081,960	448,852,043
収支	予算	5,600,000	5,960,000	2,960,000
	決算	9,117,058	5,989,552	-667,986
(備考)				

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公開行事「みなこい祭り」を11月に実施し、多くの地域の方が参加した。 ・ 地域との連携を深めるため、町会の総合防災訓練に施設の防災委員全員が参加した。 ・ 夜間の管理業務について区内事業者を活用している。 ・ 区民雇用率(当該施設)37.3% ・ 障害者雇用率(法人全体)1.80% 	

総評

[サービス面の評価]

・ 職員の安定確保と処遇改善、育成、研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果、利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・ 開設から25年が経った施設の設備、内装、備品等について、修繕や買換えを進め利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・ 今年度より特別養護老人ホーム介護職による連絡会を行うなど、部門横断型委員会等を設置し、人材確保、人材育成に一層の力を入れていると評価できる。

・ 施設は従来型多床室であるが、ユニット的ケアを取り入れ、利用者にとってより良いサービスが提供されている。

・ 福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力を行っている。また、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。一方、障害者の法定雇用率引き上げへの対応は課題となっている。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 福祉推進課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住3-14-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養56名 ショートステイ12名</p>
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：目標稼働率93%、ショートステイ：目標稼働率105% ・入所者のADL（日常生活動作）、健康、生活全般の観察を通じた状態の変化と現況の把握に努める。 ・特養については入院者を増やさないための介護と看護の連携強化を行う。 ・ショートステイについては在宅サービスである点に留意し、利用者の状況把握等、他の関係機関との連携に重点を置き適切なサービスの提供に努める。また、利用後に在宅生活にスムーズに移行できるように利用中の状況を的確に記録し、介護者へ伝える。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：稼働率95.2% 平均介護度4.0、ショートステイ：稼働率108.3% 平均介護度2.9 ・特養は新規入所の方は、本人及び家族の意向を聞き、1～2週間の集中観察を行った上で会議にて各職種で検討し、作成したケアプランを回覧、介護経過や申し送りを中心に情報の共有を行い、利用者のQOL（生活の質）の向上及び生きがい支援に努めたことにより目標を達成することができた。 ・体調不良の早期発見と早期受診を行うことで長期入院者を減らすことができた。 ・ショートステイについて、通年で行っている居室内の備品整備に加え、ベッドや採光の方向、送迎時間など利用者の状況に基づいた個別的なサービスを提供。利用者の家族から離れる不安の緩和、建物の構造の違いによる戸惑いの軽減に努めた。また、介護者の急用時については、新規利用者を含め迅速な受入れ対応に努めた。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	285,731,000	284,580,000	294,997,000	306,940,200
	決算	289,907,948	285,629,751	297,413,661	
支出	予算	269,333,000	264,565,000	286,885,000	306,940,200
	決算	277,492,632	285,980,038	296,281,498	
収支	予算	16,398,000	20,015,000	8,112,000	0
	決算	12,415,316	-350,287	1,132,163	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A-	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	保育園交流を9月に実施。他に近隣の高校との交流（ボランティア、施設見学）を実施した。	
・区内事業者の活用	清掃、消防設備点検に区内事業者を活用している。	
・区民の雇用	区民雇用率(当該施設)21.7%	
・障害者雇用率	障害者雇用率(法人全体)2.30%	

総評

[サービス面の評価]

・開設から19年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・長期入院を減らす取り組みによって、目標稼働率を達成した。

・大規模な修繕である外壁改修工事を区と連携して行い、施設の安全の向上に繋がった。

・寝台浴の交換においては、通常のサービスに影響を及ぼさないように交換工事を行い、交換後は利用者サービスを向上させている。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力を行っている。また、指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたことと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名 ショートステイ6名</p>
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：目標稼働率100%、ショートステイ：目標稼働率100% ・職員の人材育成と介護保険下における新しい施設づくりに努め、職員が明るく活気ある雰囲気の中で、充実した介護サービスが提供できるよう取り組む ・地域に開かれた施設として、ボランティア活動、多目的ホールの利用、家族介護者教室の開催や地域行事への参加を積極的に進める。 ・近隣町会と組織する「やまぶき会」の活動を中心に、防災協定をはじめ、人と人との協力し合い、安心して生活できる地域づくりに努める。 ・経営状況を十分に把握し、利用率の向上、経費の節約に努め、効果的な運営を行う。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特養：稼働率97.0% 平均介護度4.3、ショートステイ：稼働率82.0% 平均介護度4.0 ・ショートステイの平均稼働率は昨年+4.0%であったが、長期の入院等のため空床期間が増え、目標にはいたらなかった。 ・フローアごとを1つの生活単位としたフローユニット制の特色を生かし、フローアの環境整備や、利用者の状態に応じた生活、レクリエーションに取り組んだ。 ・「やまぶき会」と荒川社協との協力により開催している喫茶について、参加者やボランティアの定着が進み、参加人数が増えている。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	254,820,000	249,701,000	255,220,000	261,018,000
	決算	247,236,595	252,340,916	253,023,838	
支出	予算	253,244,000	248,113,000	250,560,000	250,695,000
	決算	246,304,245	239,575,467	257,969,319	
収支	予算	1,576,000	1,588,000	4,660,000	10,323,000
	決算	932,350	12,765,449	-4,945,481	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣9町会から構成される「やまぶき会」の活動が定着しており、地域の方が気軽に施設に相談出来る関係が出来ている。また、やまぶき会と荒川社協との協力により閉じこもりがちな高齢者のための喫茶を開催している他、月2回の歌の会、夏の縁日など地域に根差した活動を行っている。 ・ボランティアを積極的に受け入れている（延人数221名）。 ・消防設備等点検について区内事業者を活用している。また一部食材について、区内事業者から調達している。 ・区民雇用率(当該施設)42.4%、障害者雇用率(法人全体)2.60% 	

総評

[サービス面の評価]

・開設から14年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・フロアごとを1つの生活単位としたフロアユニット制の特色を生かし、フロアの環境整備や、利用者の状態に応じた生活、レクリエーションに取り組んでいる。

・近隣9町会から構成される「やまぶき会」を中心に、地域に根ざした施設として、高齢者のための喫茶や、多目的ホールの貸し出しを行うなど、地域活動の拠点として不可欠な施設となっている。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力を行っている。また、指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署 部 福祉部 課 福祉推進課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 * 介護予防含む</p>
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率85% ・居宅支援事業所のケアマネージャーと連携を図り新規利用者の確保に努める。 ・リハビリ機能の強化を図る。また、業務標準化を進め、安定したサービスの提供に努める。 ・入浴サービス、機能訓練の充実を図り利用者満足度の向上と稼働率の維持を目指す。 ・利用者（家族）アンケートの実施により積極的に利用者等の意見を取り入れたサービス向上に努める。 ・3か月ごとの体力測定を行い、目標設定、評価を本人も含めた話し合いで行い、リハビリに対する意欲と楽しみを引き出す機能訓練を行うことで、運動を通して機能向上だけでなく、生きがいを見つけて自分らしい生活を送るためのサポートをしていく。 		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率80.0% 平均介護度2.0 ・リハビリについては機能訓練指導員を中心として多職種協働による援助が実践できるようになった。特に、ケアワーカーのリハビリに対する知識向上が見られ、利用者のリハビリ効果にもつながった。 ・機能訓練については、3～4か月間隔で体力測定を実施し、担当職員や理学療法士と結果を見て、次の目標を確認しあうことで、利用者のリハビリ意欲の維持、向上を図り、効果を実感できるようにした。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	103,130,000	94,050,000	95,072,000	96,735,000
	決算	101,184,017	94,308,647	91,033,478	
支出	予算	100,806,000	98,810,000	90,632,000	92,081,000
	決算	98,773,249	96,712,791	88,279,122	
収支	予算	2,324,000	-4,760,000	4,440,000	4,654,000
	決算	2,410,768	-2,404,144	2,754,356	

(備考)

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公開行事「みなこい祭り」を11月に実施し、多くの地域の方が参加した。 ・夜間の管理業務について区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)30.0% ・障害者雇用率(法人全体)1.80% 	

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成、研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果、利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・開設から25年が経った施設の設備、内装、備品等について、修繕や買換えを進め利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・定期的に体力測定を行いリハビリ効果を検証し、利用者の意欲の維持、向上を図っており、利用者からの好評を得ている。

・食事については、利用者の楽しみとしてだけでなく、栄養指導の機会として給食委員会での栄養士や調理部門との連携を経て栄養バランスのとれた食事提供を行っており、質の高い食事提供についても評価できる。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力を行っている。また、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。一方、障害者の法定雇用率引き上げへの対応は課題となっている。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住3-14-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 ＊各々介護予防含む</p>
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率85%、認知デイ：目標稼働率42% ・利用者一人一人のペースや心身の状態に合わせた活動を提供することで、利用者の満足感や達成感を高める。 ・定期通院や外出等で事前に欠席が予定されている時は、利用日を変更するなどの振替利用を前向きに働きかけて、利用率の向上に結びつくよう努める。 ・利用者にとっての支援効果を考えながら、レクリエーションや趣味活動を計画的に実施する。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率85.1% 平均介護度2.0、認知デイ：稼働率37.0% 平均介護度3.8 ・楽しいと感じる気持ちが自然と体を動かす事に主体を置いた集団訓練では「ベンチ体操」や「歌体操」等を賑やかにを行い、楽しみながら体を動かす訓練を行った。 ・季節を感じられる行事を毎月計画的に実施した。2月には生地をこね、バレンタインクッキーを作る行事を行った。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	94,564,000	97,719,000	98,045,000	98,564,000
	決算	100,624,463	98,886,991	106,839,208	
支出	予算	86,638,000	89,525,000	88,003,000	98,564,000
	決算	92,905,033	99,167,844	85,950,937	
収支	予算	7,926,000	8,194,000	10,042,000	0
	決算	7,719,430	-280,853	20,888,271	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	保育園交流を9月に実施。他に近隣の高校との交流（ボランティア、施設見学）を実施した。	
・区内事業者の活用	清掃、消防設備点検に区内事業者を活用している。	
・区民の雇用	区民雇用率(当該施設)42.1%	
・障害者雇用率	障害者雇用率(法人全体)2.30%	

総評

[サービス面の評価]

・開設から19年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・利用者へのサービス向上に努め、目標稼働率を達成した。

・大規模な修繕である外壁改修工事を区と連携して行い、施設の安全の向上に繋がった。

・寝台浴の交換においては、通常のサービスに影響を及ぼさないように交換工事を行い、交換後は利用者サービスを向上させている。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署 部 福祉部 課 福祉推進課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 *各々介護予防含む</p>

平成25年度の事業計画

- ・一般デイ：目標稼働率75%、認知デイ：目標稼働率60%
- ・介護予防通所介護においては、利用者の生活の基本は居宅であることをふまえ、要介護状態とならないようにするため、日々の活動に目標を設定して、支援を行う。
- ・通所介護においては、利用者の重度化・高度化をふまえて、個々のできる能力に着目し、今以上の悪化を防止すべく、また可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るように支援を行う。
- ・地域に開かれた施設として、ボランティア活動、多目的ホールの利用、家族介護者教室の開催や地域行事への参加を積極的に進める。
- ・近隣町会と組織する「やまぶき会」の活動を中心に、防災協定をはじめ、人と人とが協力し合い、安心して生活できる地域づくりに努める。
- ・経営状況を十分に把握し、利用率の向上、経費の節約に努め、効果的な運営を行う。

平成25年度の事業実績

- ・一般デイ：稼働率64.2% 平均介護度2.3、認知デイ：稼働率5.3% 平均介護度3.5
- ・介護予防通所介護においては、地域ケア会議を踏まえ、各利用者のより具体的な計画に基づきサービスを提供した。
- ・一般デイにおいては、サービス提供時間を延長し、送迎範囲も区内全域に拡大した。また、要介護4、5の重度の方や、医療的見守りが必要な方の受け入れを行った。
- ・認知デイについては、一般デイよりも利用料金が高いなどの理由により、他の一般デイにおいて認知症の方の受け入れが進み、25年下期より利用者が無しの状態となっているため、今後のあり方について区と連携して検討が必要である。
- ・「やまぶき会」と荒川社協との協力により開催している喫茶について、参加者やボランティアの定着が進み、参加人数が増えている。
- ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	111,796,000	103,879,000	87,362,000	78,361,000
	決算	100,980,829	73,889,368	68,314,030	
支出	予算	111,296,000	101,507,000	86,762,000	75,394,000
	決算	102,138,716	91,541,745	70,386,393	
収支	予算	500,000	2,372,000	600,000	2,967,000
	決算	-1,157,887	-17,652,377	-2,072,363	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣9町会から構成される「やまぶき会」の活動が定着しており、地域の方が気軽に施設に相談出来る関係が出来ている。また、やまぶき会と荒川社協との協力により閉じこもりがちな高齢者のための喫茶を開催している他、月2回の歌の会、夏の縁日など地域に根差した活動を行っている。 ・ボランティアを積極的に受け入れている(延人数221名)。 ・消防設備等点検について区内事業者を活用している。また一部食材について、区内事業者から調達している。 ・区民雇用率(当該施設)38.5%、障害者雇用率(法人全体)2.60% 	

総評

[サービス面の評価]

・開設から14年経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・サービス提供時間の延長や、送迎範囲の区内全域への拡大、重度の方、医療的見守りが必要な方の受け入れ拡大など、新規利用者増に努めているところではあるが、一般デイ稼働率実績は64.2%であり、さらに稼働率の向上を図る必要がある。

・近隣9町会から構成される「やまぶき会」を中心に、地域に根ざした施設として、高齢者のための喫茶や、多目的ホールの貸し出しを行うなど、地域活動の拠点として不可欠な施設となっている。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたことと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里5-36-1
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間)
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。 (定員)通所介護(一般デイ)40名 * 介護予防含む</p>	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:目標稼働率85% ・理学療法士、看護師、介護職員と協力し、利用者が意欲的に参加できるプログラムを作成し個別機能訓練の充実を目指す。 ・頭の体操として楽しく学習しながら、認知症状の維持改善を目的とした「くもん学習療法」を希望者に実施する。 ・利用者や家族、ケアマネージャーより要望が多い入浴業務を見直すことにより、出来るだけ多くの利用者を受け入れる。 ・実習生の受入れ、ボランティアの受入れ、地域交流として保育園との交流、お元気ランチ、脳の健康教室、家族介護者教室、ボランティア感謝祭を行っていく。 ・新調理システムを活用した食事提供を開始して半年が経過した。今年度は、新システムの検証を行うとともに、利用者にとってより良い食事サービスを目指していく。 		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ:稼働率84.6% 平均介護度2.3 ・目標稼働率を若干下回ったが、前年度と比較すると若干の稼働率増となった。 ・利用時間数では、「5時間以上7時間未満」と「7時間以上9時間未満」を併用しているが、後者の枠組みを選択する利用者が増えてきている。 ・平成25年7月より祝祭日の営業を開始した。 ・看護師を中心とした個別訓練、介護職と連携した生活に根差した個別機能訓練を実施した。 ・入浴業務については、利用者の身体状況や疾病状況に留意し、必要に応じ家族やケアマネージャーと連携を取りつつ、安全に配慮し実施した。 ・食事提供については、委託業務より自主事業に変更したところであるが、月1回の給食委員会において感染症予防対策について話し合い予防に努め、また、個別対応(カロリー制限、塩分制限、アレルギー対応)も行うなど、利用者にとって「安全」かつ「おいしい食事」の提供を心掛けた。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	101,837,000	102,662,000	101,837,000	106,784,000
	決算	100,305,837	96,115,506	102,654,637	
支出	予算	99,712,000	101,797,000	100,123,000	101,694,000
	決算	99,292,677	105,149,978	99,294,344	
収支	予算	2,125,000	865,000	1,714,000	5,090,000
	決算	1,013,160	-9,034,472	3,360,293	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おげんきランチ」を週1回8名で実施。 ・ 自主事業として「おげんきランチ0B」を第1、第3、第5水曜日に13名で実施。 ・ 保育園交流会（月1回）、家族介護者教室（月1回）を実施 ・ 清掃業務や空調設備点検業務等で区内事業者を活用している。 ・ 区民雇用率(当該施設)80.8% ・ 障害者雇用率(法人全体)1.80% 	

総評

[サービス面の評価]

・ 職員の安定確保と処遇改善、育成、研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果、利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・ 開設から23年が経った施設の設備、内装、備品等について、修繕や買換えを進め利用者サービスの向上に繋がる環境整備を図っている。

・ くもん学習療法や口腔ケア、爪ケア、各種レクリエーションなどのサービスメニューが充実しており、利用者が選べるサービスを提供していることは評価できる。

・ 福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。一方、障害者の法定雇用率引き上げへの対応は課題となっている。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 福祉推進課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋7-2-15
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成5年3月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成5年3月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 * 介護予防含む</p>
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率85% ・心身機能に応じた食事、入浴、排泄、着替えなど日常生活の基本動作訓練を活動に組み入れた機能訓練を実施する。 ・機能訓練指導員を中心に介護計画に基づいた生活機能の維持、改善に向けた訓練を実施する。また、目標を明確化することで意欲、効果につなげる。 ・利用者の満足度が高く、施設の大きな特色となっている専門的なフットケアを積極的に実施していく。 ・入浴業務について身体状況や疾病状況に留意しながら、安全な入浴サービスを提供する。 ・新調理システムを活用した食事提供を開始して半年が経過した。今年度は、新システムの検証を行うとともに、利用者にとってより良い食事サービスを目指していく。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率78.4% 平均介護度2.1 ・機能訓練指導員を中心に集団体操（棒体操、セラバンド等の筋力トレーニング）や物理療法（ホットパックとマイクロウェーブによる温熱療法）など計画に基づいた生活機能の維持、改善に向けた訓練を実施した。 ・年4回体力測定を実施し、利用者一人一人が自分自身の身体機能を認識して意欲的な訓練を実施できた。 ・爪ケア、足浴、マッサージを実施し、利用者の歩行の安定と転倒防止につなげた。利用者自身からも大変好評であった。 ・食事提供については、委託業務より自主事業に変更したところであるが、月1回の給食委員会において感染症予防対策について話し合い予防に努め、また、個別対応（カロリー制限、塩分制限、アレルギー対応）も行うなど、利用者にとって「安全」かつ「おいしい食事」の提供を心掛けた。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	113,652,000	108,876,000	107,995,000	114,205,000
	決算	114,219,683	100,044,979	97,339,051	
支出	予算	105,355,000	105,936,000	104,789,000	110,117,000
	決算	113,007,490	98,211,541	108,139,079	
収支	予算	8,297,000	2,940,000	3,206,000	4,088,000
	決算	1,212,193	1,833,438	-10,800,028	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭を初めとして、おげんきランチ、ころばん体操、セラバン体操、絵手紙教室等を通じて地域との交流を図った。 ・地域交流コミュニティーの育成の一助として、多目的ホールの貸し出しを実施している。 ・日常清掃業務について、区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)48.1% ・障害者雇用率(法人全体)1.80% 	

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成、研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果、利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・開設から21年が経った施設の設備、内装、備品等について、修繕や買換えを進め利用者サービスの向上に繋がる環境整備を図っている。

・趣味や生きがい活動として、陶芸や大正琴、書道などの講師を招いてのプログラムの他、各種のレクリエーションなどサービスメニューが充実しており、利用者が選べるサービスを提供していることは評価できる。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。一方、障害者の法定雇用率引き上げへの対応は課題となっている。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住4-9-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成12年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）30名 * 介護予防含む</p>	

平成25年度の事業計画

- ・一般デイ：目標稼働率85%
- ・身体機能維持向上を目指した個別機能訓練を行い、利用者が楽しみながら訓練を行なえるよう、訓練内容の充実を図る。
- ・入浴業務の効率化を図り、できるだけ多くの利用者を受け入れられる体制を整える。
- ・個々の利用者の個別機能訓練計画書を作成し、利用者一人ひとりにあった訓練を理学療法士の指導のもと実施していく。
- ・新調理システムを活用した食事提供を開始して半年が経過した。今年度は、新システムの検証を行うとともに、利用者にとってより良い食事サービスを目指していく。

平成25年度の事業実績

- ・一般デイ：稼働率76.7% 平均介護度2.1
- ・特別養護老人ホームや老健施設への入所による利用中止者が多く、また、体調不良等で入院された方が増えたため、利用率は微減となった。
- ・平成25年7月より祝祭日の営業を開始した。
- ・今年度より理学療法士を1日配置（昨年度は半日）し、セラバンド・棒・ボール等を使用してのリハビリ体操等「楽しくできる機能訓練」を目標に機能訓練を実施した。
- ・個々の利用者の個別機能訓練計画書を作成の上、利用者にあった訓練を実施した、また、リハビリ器具（平行棒、エアロバイク等）を使用しながら身体機能の低下防止、維持向上に努めた。
- ・入浴サービスは利用者のニーズが高いため、利用者の身体状況に合わせ「一般浴」または「リフト浴」を選択するなど安全を確保しつつ、より多くの利用者を受け入れられるよう工夫した。
- ・食事提供については、委託業務より自主事業に変更したところであるが、月1回の給食委員会において感染症予防対策について話し合い予防に努め、また、個別対応（カロリー制限、塩分制限、アレルギー対応）も行うなど、利用者にとって「安全」かつ「おいしい食事」の提供を心掛けた。
- ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	75,142,000	76,089,000	73,538,000	75,815,000
	決算	77,923,017	67,268,423	64,845,544	
支出	予算	72,828,000	74,922,000	72,158,000	78,032,000
	決算	70,446,197	70,454,983	72,500,542	
収支	予算	2,314,000	1,167,000	1,380,000	-2,217,000
	決算	7,476,820	-3,186,560	-7,654,998	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・おげんきランチを週1回、定員10名で実施した。 ・近隣の保育園との交流会を3回、小学校との交流会を2回実施した。また、小中学生の体験学習を受け入れを3回実施した。 ・日常清掃及び特別清掃において区内事業者を活用している。 ・区民雇用率(当該施設)57.9% ・障害者雇用率(法人全体)1.80% 	

総評

[サービス面の評価]

・職員の安定確保と処遇改善、育成、研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果、利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。

・利用者の希望を取り入れた、各種のレクリエーションやゲーム等の活動を行うなど、豊富なプログラム活動を行い利用者から好評を得ている。

・開設から14年が経った設備、内装、備品等について、修繕、買換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。一方、障害者の法定雇用率引き上げへの対応は課題となっている。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたことと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里3-8-16
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2-19-21
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 ＊各々介護予防含む</p>	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率80%、認知デイ：目標稼働率75% ・要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な介護サービスを提供し、高齢者介護の充実、自立生活の援助、心身機能の維持向上を図る。併せて介護保険の基本理念である「自立支援」を実現し、家族等に対する身体的、精神的苦勞の軽減と地域福祉の増進を図る。 ・効率的なサービスの提供や新たなサービスの提供に努め、稼働率の安定確保を目指す。そのための取り組みとして、関係機関への施設空床情報の提供、可能な範囲での個別送迎の拡大、通所拒否等の要因撤去、見学等の積極的受入れを行い、利用者本位の対応を徹底し、利用者には選ばれるサービスの提供に努める。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率69.8% 平均介護度2.0、認知デイ：稼働率34.9% 平均介護度4.1 ・要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な介護サービスを提供し、自立生活の援助、心身機能の維持向上を図るよう努めた。 ・通院等で朝の準備ができないため当センターを欠席予定とした利用者に対し、可能な限り個別に送迎を行うなど柔軟な対応を行ったり、また、欠席により定員に空きが出た場合、追加の参加を積極的に受け入れるなどして、稼働率の維持に努めた。 ・要介護状態の方が居宅において、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう必要な支援を行った。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	140,758,000	145,692,000	143,413,000	124,666,000
	決算	139,558,415	121,212,754	108,739,088	
支出	予算	136,076,000	135,787,000	135,774,000	122,500,000
	決算	127,112,715	126,227,750	119,760,843	
収支	予算	4,682,000	9,905,000	7,639,000	2,166,000
	決算	12,445,700	-5,014,996	-11,021,755	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A-	A-
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・区立中学校生徒の「勤労留学」の受け入れなど、近隣の学校等と積極的な交流を図った。また、ボランティア、実習生を積極的に受け入れ、福祉資格取得の実習の場を提供した。 ・併設の東日暮里3丁目ひろば館の廃止に伴い、新たに障がい者施設と地域包括支援センターが併設された。スムーズな運営が出来るよう併設3施設の連絡会を設置したり、施設公開行事「第7回東日暮里ふれあい祭り」を日程を合わせて開催したりするなど連携が出来る。 ・調理は直営であり、主たる食材を区内事業者から調達している。 ・区民雇用率(当該施設)56.5% 障害者雇用率(法人全体)1.20% 	

総評

[サービス面の評価]

・開設から20年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・調理業務は直営であり、季節感のある行事食やバイキング、手作りおやつなど魅力あるメニューの提供に努めている。また、アンケート調査や家族介護者教室向け試食会を実施するなど、食事サービスの充実を図っている。主な食材を区内事業者から調達していることも評価できる。

・併設の東日暮里3丁目ひろば館の廃止に伴い、新たに障がい者施設と地域包括支援センターが併設された。スムーズな運営が出来るよう併設の3施設の連絡会を設置するなど連携が出来る。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。一方、障害者の法定雇用率引き上げへの対応は課題となっている。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p>	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率85%、認知デイ：目標稼働率75% ・自立した日常生活を営むことができるように個別機能訓練の実施及び必要な日常生活上の介護や自立支援を行う。社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、また利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・利用者の自立支援を促進するために、いきいきと楽しみを持って参加できるようプログラムの充実を図り、個々のニーズに寄り添うようなサービスの提供に努める。 ・本人、家族介護者や関係機関、地域の方々との連携に努める。 		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率68.2% 平均介護度2.1、認知デイ：稼働率59.8% 平均介護度3.3 ・重度の利用者を積極的に受け入れ、特に認知症の症状が重くなってもその個々の意思や決定を尊重することを大切にサービスの提供を実施した。 ・地域との交流、連携を大切に社協ボランティアセンターとの連携を図り、演芸ボランティアなどの積極的な受け入れを行った。 ・入浴は希望者のみに実施しているが、現在の登録者のほとんどが希望している状況であるため、浴室の改修工事を機に月～土まで毎日入浴ができる体制を整えた。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	112,119,100	115,895,000	112,302,000	114,479,000
	決算	106,671,013	105,114,753	102,096,542	
支出	予算	112,119,100	115,895,000	112,302,000	114,479,000
	決算	98,328,156	94,682,883	93,546,166	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	8,342,857	10,431,870	8,550,376	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	地域住民・利用者家族・保育園児をセンターまつりや行事に招待し交流を図った。区内中学生の勤労留学、ボランティアの受入れを行った。	
・区内事業者の活用	清掃、消防設備、給排水設備管理等を区内事業者に委託している。	
・区民の雇用	区民雇用率(当該施設)86.3%	
・障害者雇用率	障害者雇用率(法人全体)0.87% ※25年11月1日付では2.02%に改善	

総評

[サービス面の評価]

- ・開設から20年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・浴室の改修工事を実施後は、月～土まで毎日入浴ができる体制を整え利用者へのサービスを向上させている。
- ・施設公開行事を積極的に行っている。
- ・勤労留学生に代表されるボランティアの受け入れを積極的に行っていることは施設の特徴として評価できる。
- ・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたことと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久6-17-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p>	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：目標稼働率85%、認知デイ：目標稼働率75% ・自立した日常生活を営むことができるように個別機能訓練の実施及び必要な日常生活上の介護や自立支援を行う。社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、また利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・利用者の自立支援を促進するために、いきいきと楽しみを持って参加できるようプログラムの充実を図り、個々のニーズに寄り添うようなサービスの提供に努める。 ・知的障がい者通所施設「尾久生活実習所」との併設であること、また、行政や各種機関等と連携を持つ社会福祉協議会の事業や機能を十分に活用し、広範な問題に対処していく。 		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイ：稼働率68.0% 平均介護度2.3、認知デイ：稼働率18.0% 平均介護度3.0 ・入浴は希望者のみに実施しているが、現在の登録者のほとんどが希望している状況であるため、入浴日を月～土の週6日間、行事の開催日も含めて開館日は毎日実施した。 ・園芸活動、生け花を新規に開始し、音楽ボランティアの積極的な受入れを行った。 ・併設の「尾久生活実習所」と共同で施設公開「西尾久福祉センター祭り」を開催するなど、積極的に交流事業を行った。 ・福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	112,204,000	113,649,000	113,649,000	97,380,000
	決算	103,719,832	96,997,702	85,103,104	
支出	予算	112,204,000	113,649,000	113,649,000	97,380,000
	決算	97,026,051	92,194,269	89,649,070	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	6,693,781	4,803,433	-4,545,966	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
・地域との協働内容	地域住民・利用者家族・保育園児を豊年まつりや行事に招待し交流を図った。区内中学生の勤労留学、ボランティアの受入れを行った。	
・区内事業者の活用	清掃、消防設備、給排水設備管理等を区内事業者に委託している。	
・区民の雇用	区民雇用率(当該施設)79.1%	
・障害者雇用率	障害者雇用率(法人全体)0.87% ※25年11月1日付では2.02%に改善	

総評

[サービス面の評価]

・開設から19年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・入浴を週6日実施し、行事の開催日も含めて開館日は毎日実施し利用者へのサービスを充実させている。

・地域住民・利用者家族・保育園児を豊年まつりや行事に招待し交流を図り、区内中学生の勤労留学、ボランティアの受入れも行うなど地域との交流を積極的に行っている。

・併設の「尾久生活実習所」と共同で施設公開行事を行い、大勢の地域からの参加者があった。

・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたことと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和45年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>(1) 事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務
平成25年度の事業計画		
<p>(1) 健康相談及び生活相談事業 健康相談（嘱託医による健康審査、健康相談員の出張健康相談）、生活相談（生活相談員の出張生活相談）、耳より情報（生活相談員・健康相談員・リハビリ指導員を中心に推進員・用務員の協力を得ながら健康、生活に役立つ情報やより良い生活のワンポイントアドバイスを行う。）</p> <p>(2) 機能訓練事業（脳卒中などによる後遺症がある方や身体機能の低下が認められる要介護認定非該当の方を対象に、毎日の集団訓練を基礎とし、リハビリ指導員による個別指導・訓練（週3回）と健康相談員による機能訓練を行う（週3回））</p> <p>(3) 健康保持・増進事業（週3回入浴サービスを行うことで健康保持・増進に努める。）</p> <p>(4) 介護予防促進事業（いきいき体操、いきいき体操や、各種レクリエーション、誰でもいつでも脳トレなどを行うことで介護予防に努める。）</p> <p>(5) 文化教養教室・定例事業等（趣味や仲間づくり自主的なサークル活動を奨励するために、教室や各種行事を開催する。）</p> <p>(6) 公開講座（IT講座や着物着付け講習会など区民が関心を持つものを題材に、また季節にあった講座をすることで、広く区民の参加を促す。）</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>開館日数（297日）利用者総数48,512人（男性21,980人、女性26,532人）</p> <p>(1) 健康相談及び生活相談事業〔嘱託医による健康審査（527人）、健康相談員の指導援助（3,379人）生活相談員の問題解決のための支援（1,637人）〕</p> <p>(2) 機能訓練事業〔毎日の集団訓練を基礎とし、リハビリ指導員による個別指導等を週3回実施した。また、看護師指導による自主訓練を週3回実施した（1,165人）〕</p> <p>(3) 健康保持・増進事業〔入浴事業週3回（2,374人）〕</p> <p>(4) 介護予防促進事業〔いきいき体操（1,798人）いきいき体操（2,825人）ころばん・せらばん体操（1,402人）いきいき事業（11,310人）誰でもいつでも脳トレ（9,750人）〕</p> <p>(5) 文化教養教室・定例事業等〔各種行事（3,606人）定例事業（4,125人）各種教室（5,579人）ふれあい館事業（1,976人）〕</p> <p>(6) 公開講座〔デジタルカメラ入門講座（104人）マジック講座（35人）携帯電話講習会（236人）IT講習会（386人）浴衣着付け講習会（50人）和紙ちぎり絵講習会（50人）〕</p> <p>(7) 福祉避難所として区と連携し備蓄品等の整備を進めており、設置運営訓練も計画している。</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	61,522,000	62,320,000	63,936,000	65,436,000
	決算	59,800,843	60,255,840	55,374,906	
支出	予算	61,522,000	62,320,000	63,936,000	65,436,000
	決算	59,800,843	60,255,840	55,374,906	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	ボランティアが行っているふれあいサロンを地域に開放している。地域の方をサマーボランティアとして受け入れている。 委託先は区内事業者が主で物品の購入も区内事業者を活用している。 区民雇用率(当該施設)57.1% 障害者雇用率(法人全体)0.87% ※25年11月1日付では2.02%に改善	

総評

[サービス面の評価]

- ・開設から20年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・施設内はきれいに清掃され、設備は利用しやすくなっている。
- ・教室や行事等も各種あり、教室や公開講座参加者のアンケート結果を次の運営に反映させるなど努めており、利用者の評価も高い。
- ・利用者は、各事業を通して仲間づくりや人との関わりやふれあいを求めており、職員の接する態度や親切が利用者満足度で評価され、運営していく上でプラスの要素となっている。
- ・福祉避難所として、区と協定書を締結し、災害備蓄品の整備等を進め、設置運営訓練の実施を計画するなど、協力体制が構築されている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

また、今年度は、大規模災害時に要介護高齢者が避難生活を送るための「福祉避難所」として、設置運営に関する協定を区と締結し、必要な備蓄物資の整備や、運営体制づくり等を進め、地域防災力の強化に取り組んできたことと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立授産場
	所在地	荒川区東尾久4-32-7
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久4-32-7
施設開設年月日		昭和53年3月東京都から移管
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<p>荒川区立授産場条例の規定に基づく業務</p> <p>(1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関すること。 イ：作業の相談及び指導に関すること。</p> <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務 ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務。 イ：施設の清掃に関する業務。 ウ：備品の管理に関する業務。 エ：その他維持管理に関する業務。</p> <p>(3) その他区が必要と認める業務。</p>
平成25年度の事業計画		
<p>(1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを活かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生き甲斐づくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。</p> <p>(2) 利用者の工賃確保のため、不況等で1社あたりの受注量が減少する中、常に新規の企業の開拓に心がけ、毎月の工賃が平準化するよう努める。</p> <p>(3) 利用者の健康維持のため医師による健康診断を月に2回実施するとともに、毎日15分間の体操の時間を設け安全と健康増進に努める。</p> <p>(4) 利用者等の個人情報保護については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。</p>		
平成25年度の実績		
<p>○25年度末利用者は、21名である。</p> <p>○受注については12社である。(24年度実績10社から増加)</p> <p>○月別平均工賃は、35,983円(24年：34,870円)となっており、前年度より3.2%あがった。最高月は12月の50,842円(24年度：12月45,460円)最低月は8月の22,537円(24年度：3月26,681円)となっている。</p> <p>○健康管理については、毎月2回(第2・4火曜日)に嘱託医による問診、血圧測定等を実施し、利用者の健康管理に取り組んだ。</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	16,720,000	16,435,000	16,671,000	17,137,000
	決算	16,518,136	16,192,170	16,017,093	
支出	予算	16,720,000	16,435,000	16,671,000	17,137,000
	決算	16,518,136	16,192,170	16,017,093	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の性格上、地域を対象とした事業は実施していないが、会議室を地域住民の利用に供している。 ・25年度授産場が受注した事業者12社中9社は荒川区の企業である。また、清掃等の施設管理を再委託している業者10社中7社が区内企業である。 ・区民雇用率50%（法人全体） ・障害者雇用率（法人全体）0% ※従業員50名未満のため適用除外 ・節電対策として、照明器具の間引き、空調温度の夏季28℃・冬季19℃設定、昼休みの消灯を徹底した。 	

総評

[サービス面の評価]

○月一人当たりの平均工賃は35,868円であり、昨年度34,870円を維持できている。
 ○自らが働いて工賃を得るといふ「生きがい」を付与するという点で評価できる。
 ○授産場の会議室について、地域住民の利用に供している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正に行われている。また指定管理者である公益社団法人荒川区シルバー人材センターは、収益性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
 また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。
 また、昨年度と比較して、受注事業者数や月一人当たりの平均工賃額が増えており、適正な運営が行われている。

担当所管部署	部	福祉部	課	高齢者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい又は身体障がいのために就労能力の限られている人を対象に、作業指導及び生活指導等を通じて社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。 ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・家庭及び関係機関との連携並びに地域の人々との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
平成25年度の実績		
<p>(定員) 就労継続支援事業B型 48人 就労移行支援事業 7人 (利用者数) 就労継続支援事業B型 40人 就労移行支援事業 4人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業方針として、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導した。(平均月額工賃9,706円) ・生活指導として、個別的指導及び所外活動等集団的な指導を行い、社会生活に必要な適応能力の向上を図った。 ・就労指導として、利用者の心身の状況、性格を慎重に検討し、作業の割り振り、席配置、作業時間などを考慮することにより、サービス利用促進の援助につなげた。 ・利用者及び保護者の要望に応え、月一回の選択活動(創作・ゲーム・運動・学び)の活動を取り入れた。 ・就労移行支援事業では、企業の見学や実習等を行い、就労継続支援事業A型への雇用につなげた。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	196,738,000	195,432,000	214,147,000	211,132,701
	決算	183,387,710	186,703,827	207,419,847	
支出	予算	196,738,000	195,432,000	214,147,000	211,132,701
	決算	183,387,710	186,703,827	207,419,847	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

収支予算額・決算額は荒川生活実習所の人件費、事業費を含んでいる。
平成25年度荒川生活実習所の人件費について、利用者が1人以上増加すると職員数を常勤換算で1人増加する必要があり、その分の予算増となった。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開や地域の行事への参加を積極的に実施している。 ・日常使用する消耗品等は区内業者を活用している。 ・区民雇用率29.7%（施設全体） ・2.02%（法人全体） ・再生品の購入や節電、節水に取り組んでいる。 	

総評

[サービス面の評価]

- ・利用者アンケートから、施設に対する満足度「好き」が約70%に達するなど良好な評価を得ている。また、面談の回数を増やし、利用者の意見を聞く機会を充実させる努力がみられる。
- ・就労継続支援事業は、利用者の特性を十分考慮し、無理なく作業に適應できるよう配慮しながら作業支援を行っている。平均工賃収入は9,706円であり昨年より700円増加している。
- ・就労移行支援については今後は一般企業への就労及び就労定着を目指した事業実施を期待する。
- ・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、地域行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。
- ・今後も、利用者のニーズを踏まえた作業支援や生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

- ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 障害者福祉課

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、生活を楽しむ活動を通して生活の安定を図る。 ・諸活動に取り組むことで、生活スキル、社会的スキルや様々な人とともに生活していくための関係性を身につけ、豊かな生活を送るようにする。 ・施設と家庭が連携し、相互理解を深め支援の一貫性を図る。 ・地域の施設として地域住民との交流を深める活動を行う。 		
平成25年度の事業実績		
<p>(定員) 40人 (利用者数) 35人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活活動として、食事、排泄、清潔保持等の介助を行い、また、それらを習得するための支援を行った。 ・利用者の加齢や重度化に伴う体調管理やプログラムの調整を行うなど、個々人の状態に合わせたプログラムを実施した。また、バイタルチェックをこまめに行った。 ・送迎サービスの見直しにより、利用者の生活リズムや活動の充実につなげた。 ・アンケートにより要望のあった音楽活動を、ボランティアとの連携により充実させた。 ・福祉教育として保育士実習や介護体験の実習を受け入れた。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	196,738,000	195,432,000	214,147,000	211,132,701
	決算	183,387,710	186,703,827	207,419,847	
支出	予算	196,738,000	195,432,000	214,147,000	211,132,701
	決算	183,387,710	186,703,827	207,419,847	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

収支予算額・決算額は荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。
平成25年度荒川生活実習所の人件費について、利用者が1人以上増加すると職員数を常勤換算で1人増加する必要がある、その分の予算増となった。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開や地域の行事への参加を積極的に実施している。 ・日常使用する消耗品等は区内業者を活用している。 ・区民雇用率29.7%（施設全体） ・2.02%（法人全体） ・再生品の購入や節電、節水に取り組んでいる。 	

総評

[サービス面の評価]

- ・利用者の生活活動や作業活動など個々のニーズに合わせた支援が適切に実施されている。送迎サービスの見直しを図り、利用者の生活リズムや活動の充実につなげたことも評価できる。
- ・利用者アンケートについては、保護者の意見を取り入れるなど今後の工夫に期待する。
- ・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、地域行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。
- ・今後も、利用者の視点に沿った生活支援や作業支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

- ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久6丁目17番3号 / 荒川区西尾久4丁目6番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1丁目53番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日 / 平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、各種作業訓練事業を実施する。 ・利用者や施設への理解等を深めるとともに、地域の方々との交流を図ることをとおして、地域で生活していくスキルを学ぶ機会とする。 ・食生活を豊かにし、マナーや社会性を養うことを目的に利用者の個々の健康状態等に応じ、各個人に適した食事を提供する。 ・利用者に対して疾病の予防と早期発見に努め、健康の保持・増進を図る。 ・利用者の通所のため、マイクロバスやリフト付ワゴン車を運行する。 ・所内での生活をより快適に、豊かなものにしていくために、保護者との連携を図り、相互理解を深める。 		
平成25年度の事業実績		
<p>(定員) 本所39人 分場19人 (利用者数) 39人 分場16人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、リズム体操、陶芸、調理実習など各種作業訓練事業を実施した。 ・情報誌「あしあと」発行、施設公開「やかまし祭」、絵画展示などの実施をとおして、地域の方々の理解を深めるとともに交流に積極的に取り組んだ。 ・食生活を豊かにし、マナーや社会性を養うことを目的に利用者の健康状態等に応じた食事を提供した。自宅での現況を把握するため嗜好調査を行った。 ・利用者の疾病の予防と早期発見を目的に荒川保健所において健康診断を実施した。 ・利用者の通所のために、マイクロバス1台、リフト付きワゴン車をコース別に5台運行した。 ・保護者会、グループ保護者会の開催を通じて、役員会の運営を支援することで保護者との連携を図り、相互理解に努めた。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	215,627,571	223,397,705	216,063,926	232,054,409
	決算	216,075,891	220,885,849	215,789,833	
支出	予算	215,627,571	223,397,705	216,063,926	232,054,409
	決算	204,426,335	220,885,849	215,789,833	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	11,649,556	0	0	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開（やかまし祭）や利用者の作品（絵画）の商店等への展示などを通じ、障がい者や施設への理解や共感を深めている。 ・地元町会と合同で防災訓練を実施している。 ・区民雇用率 62.1%（施設） ・障がい者雇用率 2.02%（法人全体） ・再生品の購入や節電、節水に取り組んでいる。 	

総評

[サービス面の評価]

・障がい者の基本的な生活習慣、生活能力の向上に取り組んでおり、充実したサービスの提供が行われている。

・施設公開や防災訓練などのイベント等をとおして、積極的に地域や地域住民との関わりや連携を図っており、地域に開かれた施設運営がなされていると評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川2-57-8
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成9年8月22日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成21年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		障がいのある方を主とし、さらにはボランティアや障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場として、多目的ホール・会議室等を提供する。また、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会、交流会等、各種事業を実施する。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・活動・交流の場として、ホール・会議室等の貸出し等の管理・運営を行う。 ・文化・教養講座事業を実施する。（知的障がい者向け料理教室、リズム体操教室等） ・IT講習会事業を実施する。（視覚障がい者向けIT講習会、介助者向けITサポーター講座等） ・情報提供事業を実施する。（障害者福祉推進団体の作品展示・情報活動の提供、要約筆記講座、インターネットスポットの設置等） ・ふれあい事業を実施する。（バリアフリー講座、親子ボランティア講座、ステージ発表会、スポーツ交流会等） ・その他各種事業を実施する。（ばん座位体操、アクロス・連合会まつり、体験発表会、防災訓練等） 		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・貸室延利用件数(率)：多目的ホール1,690件(81.2%)、第一・第二会議室1,228件(59%)、第三会議室276件(27%) ・文化・教養講座事業(延参加者数)：知的障がい者向け料理教室12人、知的障がい者向けリズム体操教室17人、視力障がい者向け料理教室6名 ・IT講習会事業(延参加者数)：障がいのある方向け講座24人、介助者向けITサポーター講座17人 ・情報提供事業(延参加者数)：障害者福祉推進団体の作品展示17団体、要約筆記講座95人 ・ふれあい事業(延参加者数)：バリアフリー講座303人、ボランティア講座33人、ステージ発表会14団体172人 ・その他各種事業(延参加者数)：ばん座位体操1,432人、アクロス・連合会まつり413人、体験発表会94人、避難訓練・防災訓練236人 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	42,146,080	39,984,536	41,775,573	50,767,355
	決算	39,308,567	39,984,536	41,775,573	
支出	予算	42,146,080	39,984,536	41,775,573	50,767,355
	決算	39,308,567	39,984,536	41,775,573	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

平成25年度はエレベーター改修工事を行ったため、平成24年度に比べて予算及び決算が増加している。平成26年度は新規に指定特定相談支援事業を行うため予算増となっている。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会との防災訓練、小中学校のバリアフリー講座、スポーツ交流会やアクロス連合会まつり、街なか避暑地や街なかほっとサロン等の事業を実施。 ・消耗品は区内業者から購入している。 ・区民雇用率61.0%（施設全体） ・2.02%（法人全体） ・消耗品の在庫管理に努め、こまめな消灯等を行った。リサイクル区分を徹底しゴミ排出の削減を行った。 	

総評

[サービス面の評価]

・施設の運営、維持管理、各種事業の実施は事業計画に基づき適切に行っている。
 ・利用者のニーズに合わせた事業展開や利用者への丁寧な対応を心がけており、利用者アンケートからも会館利用に対して満足している人が多く好評価を得ている。また、各種イベントや福祉避難所を想定した防災訓練など、町会を含めた地域との交流を積極的に行っている。
 ・貸出率の低い部屋の利用率については、他の機関と連携することにより、わずかではあるが昨年度よりも改善しているため、今後も運用に期待する。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
 また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立精神障害者地域生活支援センター
	所在地	荒川区東尾久5-45-11
指定管理者	名称	社会福祉法人トラムあらかわ
	所在地	荒川区荒川6-42-7-101
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センターI型</p> <p>(1) 精神障がい者に対する日常生活の支援・相談に関する事業 (2) 精神障がい者の地域交流活動に関する事業 (3) 施設内の清潔の保持その他環境整備に関すること (4) 施設、附属設備及び備品の維持並びに保全に関すること</p>	
平成25年度の事業計画		
<p>地域活動支援センターI型として、①障害者の地域活動支援…グループ活動、教養・趣味講座、連続講座、利用者ミーティング、利用者援助（常時） ②地域交流活動…ボランティアミーティング（月1回）、公開講座（精神障がい者への理解、自殺予防等）、納涼祭（8月）、クリスマス会（12月）新年のつどい（1月）③相談支援事業…電話相談・面接相談・フリースペースでの相談 ④指定相談支援事業…利用者からの日常生活全般に関する相談・サービス等利用計画の作成・居宅訪問による相談支援・電話相談</p> <p>その他「区受託事業」として、精神保健福祉ボランティア育成のための連続講座・実習を行う。</p>		
平成25年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流室、プログラム等利用者…延8,185名 ・ プログラム・イベント参加者…延3,933名 （内訳）①創作的、レクリエーション的活動プログラム（夕食会・カラオケ・卓球・就労準備講座等）…2,579名 ②自主活動的プログラム （家族教室、セルフヘルプミーティング等）…869名 ③地域交流プログラム【館内】 （ボランティア講座、園芸ボランティアグループ等）…276名 ④地域交流プログラム【館外】 （スポーツ交流祭、きもちトークツアー、防災訓練等）…209名 ・ その他（区受託事業等） <ul style="list-style-type: none"> ①指定相談支援事業…23名 ②実習生受入（区依頼）…14名 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	35,366,000	33,831,000	34,559,000	38,989,235
	決算	34,111,555	33,831,000	34,559,000	
支出	予算	35,366,000	33,831,000	34,559,000	38,989,235
	決算	34,111,555	33,831,000	34,559,000	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A-	A-
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流活動を進め、施設の認知度を高めている。 ・修繕や清掃業務等を選定時には区内業者を優先している。 ・区民の雇用 職員12名中、夜間相談員1名 8.3% (施設内) ・障害者雇用率 0% (法人全体) ※従業員50人未満の事業主は障害者雇用率制度による障害者雇用義務適用除外 ・紙類、びん、缶類は有価物ゴミとして処理。コピー用紙・封筒等紙類の再利用徹底。エアコン温度設定の徹底。 	

総評

[サービス面の評価]

日常生活における援助等や電話相談・面接相談・フリースペースでの相談など、地域生活を送ることのできる自立促進のため、一人ひとりきめ細やかで丁寧なサービスが提供されているため、指定管理のサービス全体として評価ができる。

また、受け身の立場だけではなく、地域住民の一人として子どもや高齢者との交流を図っており、地域生活の生きがいや充実感を得る機会の提供にもなっている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人トラムあらかわは、安定性にやや懸念があるが、成長性、収益性、活動性・健全性等は良好である。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者グループホーム（ピアホーム西日暮里）
	所在地	荒川区西日暮里2-2-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
	所在地	新宿区西新宿8-3-39
施設開設年月日		平成6年4月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同生活援助事業（グループホーム）は企業及び福祉作業所等で就労している知的障がい者に居住の場を提供し、日常生活の援助及び生活指導を行う。 ・ 緊急一時保護事業は、在宅の障がい者（児）を介護している人が、緊急的（疾病等）理由及びレスパイト（介護者の旅行や休養等）により一時的に介護できない時に本施設内で保護する。 	
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホームの利用者支援として、利用者一人ひとりの意思を尊重し、「利用者に寄り添う」姿勢を基本に支援する。また、支援方法の工夫や発想の転換などを常に心がけ、ご本人の負担やストレスにならないように配慮していく。 ・ 緊急一時保護事業については、利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をし、利用者の満足度を高める。 ・ 利用者の安全を第一に考え、職員間のコミュニケーションを密にしていく（報告・連絡・相談の徹底）。また、利用者の保護者や就労先、日中通所先をはじめ、荒川区や各医療関係機関等と連携を取り、情報交換を行う。 ・ 計画的に防災訓練を実施する。災害の種類、場所、時間等の想定を変えながら、避難経路や留意点についての確認をする。 ・ 法人の理念に基づき、利用者一人ひとりの人権と意思を尊重した支援を徹底するため、虐待防止法をはじめとする権利擁護に関する体制を整備し、法人の学習会を実施する。 		
平成25年度の事業実績		
<p>（定員）グループホーム4人 緊急一時保護2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム利用者（延べ人数3名）3年間の利用期限がある中で有意義な生活を利用者に送っていただくために、サービス管理責任者と法人担当ワーカーとで利用者個人ごとに聞き取りを実施し、前期・後期に分けて個別支援計画書を作成した。 ・ 緊急一時保護 延べ利用日数357日（緊急一時保護2部屋合計） 利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をするよう努めた。利用率向上のため、パンフレットを作成し区や関係機関に配布した。 ・ 職員の各種研修会への参加。栄養管理・感染症についてや虐待防止等、幅広い研修を受講。 ・ 保護者からの電話連絡や訪問時には、随時対応し、職員同士で情報共有を行った。 ・ 定期的に避難訓練を実施。地域の震災訓練にも参加、世話人1名が消防団員として活動。 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	23,605,950	22,539,167	22,785,340	21,014,289
	決算	23,605,950	21,947,075	22,257,971	
支出	予算	23,605,950	22,539,167	22,785,340	21,014,289
	決算	23,605,950	21,947,075	22,257,971	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A-
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の総合震災訓練や区の行事に積極的に参加している。 ・日用品の購入や再委託先については区内業者を活用している。 ・世話人3名の内、2名は区民である。 ・障害者雇用率（法人全体）4% ・自動ドアについては不要なときは電源を切る等節電に努めている。 	

総評

[サービス面の評価]

- ・利用者の日常生活支援・施設管理や危機管理などは適切な運用が行われており、グループホーム及び緊急一時保護共にサービス全体としての評価ができる。
- ・本施設の世話人は、社会福祉士・介護福祉士等の資格を有し、障がい福祉に通じた職員が利用者の支援を行っている。
- ・地域の行事にも積極的に参加し、地域との交流を図っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都知的障害者育成会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

なお、当法人についてはグループホームをおよそ120カ所独自で運営している外、公立の小規模グループホームを数カ所運営している。

しかしながら、今後は独自のグループホームの運営に尽力していきたいという法人の運営方針もあり、平成26年3月31日の指定管理期間満了をもって当法人による運営は終了となった。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立小台橋保育園
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
施設開設年月日		平成16年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<p>○ 子どもの最善の利益を守るにふさわしい場を創り、子ども一人一人が「仲間・世代間・地域」との関わりをもって、健全な心身の発達、生きる力の基礎を培うことを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の福祉を増進するにふさわしい環境を整える ・子ども達一人ひとりが自己を発揮し、健全な心身の発達を図る保育を行う ・子ども達一人ひとりの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育が一体となった保育を行う ・人や物への愛情と信頼感、人権の大切さ、自主自立、協調、道徳の芽生え等を培う保育を行う ・保護者への支援、地域の子育て家庭への支援を行う <p>◆実施定員 162名</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>○ 日々の保育では、①子どもの安全第一 ②心地よく過ごせる保育環境 ③子ども達の自主的主体的な活動支援 ④子ども達が保育園生活に楽しさを感じ「明日は何をしようか」と期待する気持 ⑤子どもも保育士も楽しいと感じる保育、等々を組み入れた保育を展開した。</p> <p>○ 「子ども達の健康、意欲と創造性の力」「話を聞く、相手のことを思いやる気持ち」「助け合って友達と遊ぶ力」「音に親しみ豊かな感性を培い、豊かな表現力」「基本的生活習慣の実践」等、年齢ごとに達成できた。</p> <p>◆入所児数 154名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	232,446,947	244,031,989	244,317,739	226,882,201
	決算	232,534,147	244,204,679	244,315,739	
支出	予算	230,106,086	240,488,749	224,608,038	219,269,088
	決算	228,665,199	237,033,937	224,491,782	
収支	予算	2,340,861	3,543,240	19,709,701	7,613,113
	決算	3,868,948	7,170,742	19,823,957	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の保育実習、大学生や保育士養成課程実習、看護師養成実習等を積極的に実施した。また交流を通して地域の方々や施設関係者と連携を図っている。在宅育児親子が利用できる子育て交流サロン事業を実施した。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は42.9%となっており、積極的に区民を雇用した。 ・障害者は雇用しなかった。 ・環境に配慮し、日よけの設置など、節電節水に努めたほか、園の畑については、干した雑草で肥料をまかなう等資源循環型の管理を行った。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人教信精舎は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久8-10-12
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<p>① 乳幼児の健全な心身の発達のために 子どもの健康、安全で情緒豊かな生活環境を準備し、保育園と地域、保護者の交流を深め養護と教育が一体となって、明るく、思いやりと感謝の心をもつ、素敵な子どもを養い育てる。</p> <p>② 保護者が子育てに喜びを感じるために 就労と育児の両立を支援し、子育てが安心して楽しいと感じられる次世代育成支援に向けて、子育てサービスに取り組みながら地域で互いに支え合える施設を目指す。</p> <p>③ 地域との交流や地域子育て支援 地域との交流や子育て支援として、次の事業を行う。 ・園庭の開放 ・ふれあい保育 ・近隣小中学校の体験学習交流や保育実習学生等の受入 ・町会行事との交流 ・子育て相談 ・施設見学会の充実 ・児童虐待防止への取組 など</p> <p>◆実施定員 122名</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>・乳幼児が、人に対する優しさ、思いやり、いのちの尊さを学び、さまざまな体験から心豊かに成長できるよう、魅力ある保育を実践し、成果をあげた。また、体育遊びを取り入れ体力づくりにも力をそそいだ。</p> <p>・子どもや保護者の生活環境、家族機能、労働形態、社会の状況の変化に対応しつつ、子どもの最善の幸せを重視した保育を行った。</p> <p>・職員については、相互に理解される信頼関係の構築を図り、多くの研修会に参加させ、学びや謙虚な心の修得を図った。</p> <p>◆入所児数 121名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	195,030,000	191,062,000	202,260,000	186,160,000
	決算	194,912,383	197,684,448	202,251,143	
支出	予算	172,596,070	166,510,000	161,273,600	174,560,000
	決算	171,747,840	162,242,099	161,125,092	
収支	予算	22,433,930	24,552,000	40,986,400	11,600,000
	決算	23,164,543	35,442,349	41,126,051	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームに毎月訪問し、高齢者と交流を図ったほか、近隣の通所サービスセンターへの訪問や、地域の方々の運動会への招待、交番・消防署へのクッキーの配布訪問など、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は48.5%となっており、積極的に区民を雇用了。 ・障害者雇用率は法人全体で2.56%で、法定水準2%を上回った。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んだ。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力も行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住4-9-4
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を身に付ける、心身の発達を養う ・ 物事に対する善悪の判断、人に対する挨拶、感謝の心を育てる ・ 人との関わりの中で、人に対する思いやり、やさしさ、信頼感、自主性と豊かな感謝の心を培う ・ 生きる力を育て、命を大切にする基礎教育をする ・ 安全対策、情報公開の徹底に全力で取り組む ・ 在宅家庭へのサポートとして、相談、助言、支援、交流する場所を提供すると共に親睦を深め合う ・ 親子のふれあいを大切に、愛情が感じられるよう、豊かな感性や創造性を培う ・ 地域社会で異年齢交流を推進する <p>◆実施定員 135名</p>		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもや保護者の生活環境、労働形態の違いや社会状況の変化に対応しつつ、子どもの最善の幸せを重視し、取組成果を上げた。 ・ 職員は多くの研修会に参加し自己研鑽に努め、謙虚な心を修得した。 ・ 集団生活の中で、人に対する優しさ、思いやり、命の尊さを伝え、さまざまな体験から心豊かに成長できるよう魅力ある保育を実践した。 ・ 科学あそびや体育あそびも取り入れ、地域活動、異年齢での交流も積極的に実施し保育の質の向上に努めたほか、地域における子育て支援、子育て相談、園庭開放など在宅育児の支援にも努めた。 <p>◆入所児数 133名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	204,520,000	201,664,000	204,898,000	195,440,000
	決算	204,418,074	204,494,384	204,848,216	
支出	予算	169,166,250	170,227,000	167,794,000	181,940,000
	決算	168,617,368	165,578,025	167,611,602	
収支	予算	35,353,750	31,437,000	37,104,000	13,500,000
	決算	35,800,706	38,916,359	37,236,614	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームに毎月訪問し、高齢者と交流を図ったほか、夏祭りへの地域の方々の参加や、近隣の小中学生の職場体験の受入れなど、地域の方々と積極的に交流を図った。保育実習生を受け入れ、地域との交流を深めてもらうほか、職員の保育充実も図ることができた。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は26.2%となっており、区民の雇用に努めた。 ・障害者雇用率は法人全体で2.56%で、法定水準2%を上回った。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んだ。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力は行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。
また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住8-3-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2-19-21
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに寄り添うことで、自身が愛おしい存在として認められていると実感できるようにするなかで、様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち互いに育ちあえる保育の援助を行う。 保護者の様々な状況を把握したうえで思いを十分に受け止め安心して働けるように、職員間で情報の共有をし、細やかな連携・対応ができるように努める。また、栄養士・看護師等の専門職員の観点からの相談援助も積極的に行う。 地域の子育て支援、地域の高齢者との交流、父親の育児参加、子育て力の向上のサポートなど、職員一同で共通理解のうえ充実を図る。また、小学校とも連携し個々の育ちの援助に力を注ぐ。 区の保育の動向を速やかに周知し、可能な限り待機児童解消の対策などに協力する。 <p>◆実施定員 138名</p>		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> 夏に無菌性髄膜炎の発症、冬にインフルエンザが流行し、感染の根絶に向け、手洗い、うがいの徹底やマスクの着用、保育室、玩具の消毒など感染症対策に努めた。 事業計画に沿って保育に取り組み、各年齢別の保育活動や縦割保育、給食の提供、安全対策、地域交流など、それぞれの目標を達成した。特に、3から5歳児については、様々な活動を通じ、仲間意識の醸成に力を入れた。また、0から2歳児については自我の芽生えを大切に見守りながら、年齢や個人に応じた発達の支援を行った。 <p>◆入所児数 135名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	211,053,000	214,851,000	218,894,000	222,374,000
	決算	211,776,785	214,837,305	218,674,714	
支出	予算	208,714,000	212,699,000	215,080,000	221,574,000
	決算	207,413,518	206,029,580	215,131,599	
収支	予算	2,339,000	2,152,000	3,814,000	800,000
	決算	4,363,267	8,807,725	3,543,115	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の体験授業の受入れのほか、近隣の保育園、幼稚園との交流を行った。また、老人会との交流では、一緒にふれあいを楽しみ、交流を深めた。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は31.6%となっており、積極的な区民の雇用に努めた。 ・障害者の雇用率は法人全体で1.19%で法定水準2%を下回った。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んだ。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力も行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住8-5-5
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町2-5-1
施設開設年月日		平成18年1月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年1月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針及びガイドラインに則り、人間尊重の精神を基盤にそれぞれの発達の時期にふさわしい生活を展開しながら、社会性と感性を育て、心身ともに健康で豊かな人間の育成を目指す。 ・ 事業内容としては、認可保育園としての保育事業として、通常保育、11時間開所及び延長保育の実施、一時保育の実施、延長スポット保育の実施を行う。 ・ また、はなみずきひろば（地域サロン）を実施し、在園児だけでなく、地域の子育て家庭に地域サロン及び園庭を開放し、安全に楽しく、子育て家庭の交流の場を提供する。 ・ そのほか、小中学生体験学習の受け入れや各種ボランティアの受け入れ、地域交流を実施する。 <p>◆実施定員 174名</p>		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針及びガイドラインに則り、人間尊重の精神を基盤にそれぞれの発達の時期にふさわしい生活を展開しながら、社会性と感性を育て、心身ともに健康で豊かな人間の育成を目指す保育を実施した。 ・ 認可保育園としての通常保育、11時間保育、延長保育を着実にを行うほか、体操、英語、音楽指導、体力づくりとしての朝マラソンなど、年齢にあった保育活動にも注力した。また、地域サロンではお話し会や園庭開放など子育て家庭の交流の場を提供するだけでなく、歯科医など専門家を招いての相談会を実施するなど、地域の保育資源としての役割を認識して活動を広げた。 ・ また小中学生の職場体験、ボランティアの受け入れなどの地域交流を積極的に行った。 <p>◆入所児数 173名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	227,110,000	231,005,000	231,505,000	235,600,000
	決算	225,686,139	229,447,149	232,128,929	
支出	予算	191,650,000	198,950,000	200,700,000	209,350,000
	決算	190,510,467	197,122,309	200,827,097	
収支	予算	35,460,000	32,055,000	30,805,000	26,250,000
	決算	35,175,672	32,324,840	31,301,832	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・リバーサイド病院のリハビリ患者との交流や、町会婦人部と七夕の交流を行った。また、夏祭り・運動会などの園行事に際して近隣商店街、町会等に行事案内を出し、参加を呼びかけるほか、地域の文化祭で園児の作品を発表するなどした。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は8.3%となっている。 ・障害者雇用率は法人全体で1.1%で、法定水準2%を下回った。 ・環境に配慮し、紙等のリサイクルを徹底するほか、水道光熱費に関しては、前年度の数字をもとに予算管理を行うことで節電、節水につなげた。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力も行っている。また指定管理者である株式会社こどもの森は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住保育園
	所在地	荒川区南千住6-35-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念、保育所保育指針に則り養護と教育、そして家庭とが一体となり豊かな人間性をもった子どもを育成する。児童の最善の幸せのために保育園の役割を果たし、目標や方針に共通認識をもち保育課程を見直していく。 ・ 人と人との関わりの中で、人に対する思いやり、やさしさ、信頼感、自主性と人に対する感謝の心を豊かに培う。 ・ 生きる力を育て、命を大切にすることを響き合わせ基礎教育をする。 ・ 安全対策、情報公開の徹底に全力で取り組む。 ・ 子どもの育ちを支え、相談、助言、支援、交流する場所を提供し、在宅家庭へのサポートと共に親睦を深め合う。地域社会で異年齢交流を結べるように図る。 ・ 職場の環境作り、職員のスキルアップのための研修に参加し、資質向上を目指す。また、ボランティア（お話会）や実習生依頼（職場体験・保育実習）も受け入れる。 ・ 家庭や地域社会と連携を図り、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように健全な心身の発達を図る。 ・ 事故・防犯・安全対策など適正な環境を整え、子どもの状況を把握し、向上に努め地域に根ざした保育運営を充実する。 <p>◆実施定員 175名</p>		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童憲章の理念を尊重し、保育所保育指針に基づいた保育計画を立て、子どもたちが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことを目指した保育を行った。 ・ 地域における子育て支援のため、子育て相談、行事への参加など在宅育児をされている方の利用など、保育園の機能を活かして積極的に取り組んだ。 ・ 子ども達が保育園で過ごす時間が豊かに実り多くなるよう、一人ひとりの思いに寄り添い、心に触れ、日々保育に注いだ。また、職員一人ひとりが職場内外での研修を通じて資質向上に努め、選ばれる保育園となるよう保育士の育成に努めた。 <p>◆入所児数 172名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	247,181,360	253,402,000	247,853,000	249,500,000
	決算	247,110,775	252,413,849	247,856,648	
支出	予算	244,511,360	231,313,000	224,530,000	237,400,000
	決算	205,326,177	236,353,428	224,335,352	
収支	予算	2,670,000	22,089,000	23,323,000	12,100,000
	決算	41,784,598	16,060,421	23,521,296	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の特別養護老人ホームに頻繁に訪問し、深い交流の絆が築かれている。また、地域の方々の運動会への招待、近隣のお寺でのお茶会など、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は34.8%であり、区民の雇用に努めた。 ・障害者雇用率は法人全体で2.56%で、法定水準2%を上回った。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んだ。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力も行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住7-20-13
指定管理者	名称	社会福祉法人 東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町一丁目347番地
施設開設年月日		平成24年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年7月1日
指定期間		平成24年7月1日～平成29年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<p>運営2年目であることから、1年目の実績を活かし、次のとおり、更なる運営改善に努める。</p> <p>①職員と保護者の連携が深まるよう、情報提供、情報交換の仕方を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルフォトフレームを設置し、園児のその日の活動を保護者が確認できるようにする ・掲示や配布物は、必ず職員から保護者に口頭でも伝えるようにする ・保護者懇談会の時間帯を、より保護者が参加しやすい時間に設定する <p>②個々の利用者に応じた育児支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『いつでも個人面談』を実施する ・お迎え時間に合わせた育児相談サロンを実施し、気軽に育児相談ができるようにする <p>◆実施定員 156名</p>		
平成25年度の事業実績		
<p>事業計画時に最重要課題として掲げた2点については、次のとおりの成果があった。</p> <p>①職員と保護者の連携が深まるよう、情報提供、情報交換の仕方を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示物に保護者が自由にコメントを書き込めるよう工夫し、保護者の意見を汲み取りやすくした ・保護者懇談会の開始時間をこれまでより30分遅らせ、参加しやすいようにするとともに、資料を視覚的にわかりやすいものとなるよう工夫した <p>②個々の利用者に応じた育児支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会終了後に、職員と自由に話したり相談を受ける場を設けた ・お迎え時間に応じた育児相談を実施した <p>以上の取組みにより、相談しやすく何でも話せる、気軽に話せる等、保護者から好評を得、保護者との連携が深まった。</p> <p>◆入所児数 123名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算		152,213,000	213,436,000	202,883,000
	決算		152,209,860	213,424,208	
支出	予算		133,895,000	185,864,000	185,960,000
	決算		133,757,224	185,672,529	
収支	予算	0	18,318,000	27,572,000	16,923,000
	決算	0	18,452,636	27,751,679	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々を夏祭りや運動会へ招待したほか、近隣の高齢者施設等への敬老の日お手紙投函、消防署、近所の工場などへのプレゼントなど、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は22.1%であり、区民の雇用に努めた。 ・障害者は雇用していない。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。特に用紙については古紙の利用や使用枚数のカウントによる節約の意識づけに取り組んだ。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力も行っている。また指定管理者である社会福祉法人東萌会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立夕やけこやけ保育園
	所在地	荒川区東日暮里3-11-19
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成25年度の事業計画		
<p>保育園は、人間形成の基礎を培う時期、その生活の大半を過ごす場であるという観点から、次の点を方針として保育する。</p> <p>①一人一人の子ども達が「なかま（保育園）・家庭・地域」の中で、健全な心身の発達を図り、共に育ちあう保育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の福祉を増進するにふさわしい場の創造 ・子ども一人ひとりが自己を十分に発揮し、健全な心身の発達を図れるよう支援 ・子ども達一人ひとりの状況や発達過程を踏まえた養護と教育が一体となった保育 ・人への愛情、人権を大切にする気持ち、自主自立協調の態度・道徳性の芽生えを培う ・地域の社会資源と連携し、保護者及び地域の子育てを支援 <p>②保護者、保育園職員、地域の方々とともに防災意識を高める。</p> <p>③保護者や地域から信頼される職員を目指す。</p> <p>◆実施定員 156名</p>		
平成25年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がのびのび育つ環境の整備を図るため、保育過程・保育指導計画の作成、適切な健康管理、保育士の能力向上を図った。 ・保育の質を高めるため、保育技術の向上、保育関係書類の整理、研修の充実とその成果の職員間の共有を図った。 ・安全管理と防災意識の高揚を図った。 ・保護者との連携を強化するため、保護者との信頼関係の強化、保育に係る様々な情報発信に取り組んだ。 <p>◆入所児数 127名（平成26年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算			207,902,148	212,579,472
	決算			207,901,830	
支出	予算			188,898,775	206,087,774
	決算			188,631,518	
収支	予算	0	0	19,003,373	6,491,698
	決算	0	0	19,270,312	
(備考)					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の保育実習、大学生や保育士養成課程実習、看護師養成実習等を積極的に実施している。また高齢者施設との交流を実施するほか、ふれあい館との連携を図った。 ・食料品や消耗品等、購入先については、原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は51.8%となっており、積極的に区民を雇用した。 ・障害者は雇用しなかった。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んだ。 	

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減努力も行っている。また指定管理者である社会福祉法人教信精舎は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場
	所在地	荒川区南千住4-1-2
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	東京都足立区六町4-12-25
施設開設年月日		平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積:2,247㎡ ・収容台数:自転車1,485台(定期利用1,285台、一時利用200台) 原動機付自転車 25台(定期利用20台、一時利用5台)	
平成25年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽の販売サービスを行う。 		
平成25年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者を適切な場所に誘導した。高齢者や子どもも乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った（券売機修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、消防設備保守点検（年2回）を行った。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽の販売サービスを行った。 8 定期利用登録率（登録者数／収容台数） 97.3%（平成26年3月31日現在） 一時利用率（利用者数／収容台数） 29.4%（1日平均） 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	33,553,705	40,140,535	40,140,535	40,141,000
	決算	36,046,270	35,777,105	34,119,785	
支出	予算	29,478,705	30,089,535	31,638,135	30,090,000
	決算	26,302,244	29,272,342	26,966,275	
収支	予算	4,075,000	10,051,000	8,502,400	10,051,000
	決算	9,744,026	6,504,763	7,153,510	
(備考)					
南千住駅周辺における民営駐輪場の増加の影響もあり、収入は減少傾向で推移している。					

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンに参加した。 ・消耗品等をできるだけ区内の店で購入した。 ・区民を優先的（11人中5人）に雇用した。 ・障害者雇用率 1.33% ・一部の照明を消灯するなど節電を行った。 	

総評

[サービス面の評価]

昨年度と同様に、利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。なお、障がい者の雇用については、法定雇用率の達成に向けた一層の努力が必要である。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。
また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

昨年度と同様に、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	防災都市づくり	課	交通対策
--------	---	---------	---	------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号
指定管理者	名称	サイカパーキング株式会社
	所在地	東京都中央区日本橋小網町7番2号
施設開設年月日		平成8年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積:1,438㎡ ・収容台数:自転車1,407台(定期利用1,200台、一時利用207台)	
平成25年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として主に次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽・サドルの汚れ拭きタオルを貸出す。 ・月間（隔月）自転車対策キャンペーン（あいさつ強化月間等）を行う。 		
平成25年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者を適切な場所に誘導した。高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った（自転車ラック修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）を行った。消防設備保守点検はセンターまちや管理組合により行われた。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽・サドルの汚れ拭きタオルを貸出した。 ・月間（隔月）自転車対策キャンペーン（あいさつ強化月間等）を実施した。 8 定期利用登録率（登録者数／収容台数） 110.0%（平成26年3月31日現在） 一時利用率（利用者数／収容台数） 115.3%（1日平均） 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	45,314,099	44,735,230	45,272,752	45,885,000
	決算	44,602,490	44,598,990	43,367,490	
支出	予算	39,924,565	40,605,793	41,443,930	40,136,000
	決算	39,448,257	40,914,454	41,344,048	
収支	予算	5,389,534	4,129,437	3,828,822	5,749,000
	決算	5,154,233	3,684,536	2,023,442	

(備考)

町屋駅周辺における民営駐輪場の増加の影響もあり、収入は減少傾向で推移している。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンに参加した。 ・消耗品等をできるだけ区内の店で購入した。 ・区民を優先的（10人中7人）に雇用した。 ・障害者雇用率 2.14% ・照明の一部を間引いて節電を行った。 	

総評

[サービス面の評価]

昨年度と同様に、利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者であるサイカパーキング株式会社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

昨年度と同様に、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	防災都市づくり	課	交通対策
--------	---	---------	---	------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里二丁目24番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	東京都足立区六町4-12-25
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <p>・延床面積：1,706㎡ ・収容台数：自転車1,270台 (定期利用1,100台、一時利用170台)</p>
平成25年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。防火管理責任者による自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として次の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽の販売サービスを行う。 ・自転車の軽微な修理サービスを行う。 		
平成25年度の実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者を適切な場所に誘導した。高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った（システム修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年2回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年2回）、消防設備保守点検（年2回）、エレベーター保守点検（毎月）を行った。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽の販売サービスを行った。 ・自転車の軽微な修理サービスを行った。 8 定期利用登録率（登録者数／収容台数） 53.2%（平成26年3月31日現在） 一時利用率（利用者数／収容台数） 131.3%（1日平均） 		

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	18,257,090	19,736,390	20,265,889	22,363,000
	決算	20,744,860	21,538,380	21,414,397	
支出	予算	26,973,090	26,631,390	27,356,574	26,889,000
	決算	25,849,703	26,245,766	28,495,674	
収支	予算	-8,716,000	-6,895,000	-7,090,685	-4,526,000
	決算	-5,104,843	-4,707,386	-7,081,277	

(備考)

収入は横ばい傾向の中で、平成25年度は定期利用カードの一括発注などの支出増により、収支マイナス分が増加した。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンに参加した。 ・消耗品等をできるだけ区内の店で購入した。 ・区民を優先的（11人中7人）に雇用した。 ・障害者雇用率 1.33% ・一部の照明を間引いて節電を行った。 	

総評

[サービス面の評価]

昨年度と同様に、利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。なお、障がい者の雇用については、法定雇用率の達成に向けた一層の努力が必要である。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力は行っている。また指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。
また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

昨年度と同様に、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 防災都市づくり 課 交通対策

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 他
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成4年4月28日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日から平成27年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成25年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）、計画修繕	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）	
3 施設管理	受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム保守、エレベーター保守等	
4 清掃・管理	定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備	
5 計画修繕	ガス給湯器・エアコン交換、屋上防水工事（町屋五丁目住宅）	
平成25年度の実績		
1 住宅営繕	一般修繕（洗面所・トイレ配管等補修等 27件） 空家修繕（畳表替え等 18件） 計画修繕（エアコン・給湯器取替等）を実施	
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず）	
3 施設管理	受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム、エレベーター保守等を実施	
4 清掃・管理	定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備を実施	
5 計画修繕	ガス給湯器・エアコン交換、屋上防水工事（町屋五丁目住宅）	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	26,044,095	23,330,642	38,316,334	26,575,962
	決算	26,896,095	21,639,251	32,742,941	
支出	予算	26,044,095	23,330,642	38,316,334	26,575,962
	決算	26,896,095	21,639,251	32,742,941	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

・24年度は、空家修繕件数が引き続き高水準となっているが、計画修繕が想定よりも安価に実施できたため決算額は減少している。
 ・25年度は、給湯器交換・エアコン改修工事に加え、緊急に屋上防水工事を実施したため、例年に比べ予算、決算額が共に増加した。
 ・26年度は、給水ポンプ取替工事、業務用給水ポンプ取替工事、屋上防水工事(1・3・13階)、高架水槽補修工事を予定している。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	A	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・区内事業者の活用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	25年度に実施した保守・修繕業務64件の契約のうち、10件を区内事業者に委託している。 障害者雇用率は、2.12%であり、法定水準(2.0%)を満たしている。(平成25年6月1日現在) 環境配慮の取組を着実かつ継続的に実行していくため、環境方針を策定し、事務所活動における環境対策として、組織体制を整備し、省エネ行動、エネルギー使用量の把握などを行っている。 荒川区の施設についても、共用部の照明の間引き等により、節電を行っている。	

総評

[サービス面の評価]

施設の保全、修繕及び改良、住居環境の整備について24時間体制による適切な管理がなされている。コストを低減しつつ保守委託業務については区内業者の活用を図り良好な維持管理が行われているが、営繕業務についてはより一層の区内業者の活用が望まれる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力も行っている。また、指定管理者である株式会社東急コミュニティは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。なお、営繕業務については、より一層の区内業者の活用が望まれる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成25年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（西日暮里三丁目住宅、東日暮里六丁目住宅、町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西日暮里三丁目7番6号他
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成7年4月1日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
業務内容		1 区民住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成25年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空室修繕（退去後の修繕）	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）	
3 施設管理	受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、消防設備保守（町屋五丁目住宅）エレベーター保守等	
4 清掃・巡回管理	定期清掃、巡回管理、床等日常清掃、ゴミ置き場等清掃	
5 計画修繕	ガス給湯器交換（町屋五丁目住宅）、屋上防水工事（町屋五丁目住宅）	
平成25年度の事業実績		
1 住宅営繕	一般修繕（台所水栓交換等96件） 空室修繕（壁クロス張り替え等13件）を実施	
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず）	
3 施設管理	受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、台所排水管清掃、消防設備保守（町屋五丁目住宅）エレベーター保守等を実施	
4 清掃・巡回管理	定期清掃（年4回）、巡回管理、床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ゴミ収集日）を実施	
5 計画修繕	ガス給湯器交換（町屋五丁目住宅）、屋上防水工事（町屋五丁目住宅）を実施	

施設決算状況

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収入	予算	47,283,390	38,661,000	93,980,327	59,258,160
	決算	45,305,928	38,259,963	93,785,599	
支出	予算	47,283,390	38,661,000	93,980,327	59,258,160
	決算	45,305,928	38,259,963	93,785,599	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

- ・平成25年度は、当初から予定していた給湯器交換工事に加え、緊急に屋上防水工事を実施したため、例年に比べ、予算、決算額が共に増加した。
- ・平成26年度は、給水ポンプ取替工事、業務用給水ポンプ取替工事、屋上防水工事(1・3・13階)、高架水槽補修工事を予定している。

評価項目	前年度評価	今年度評価
1 適切な施設運営・維持管理	B+	A
2 区民サービス・利用者意見	A	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A	A
4 収支状況・縮減努力	A	A
5 法人決算	A	A
6 労務	A	A
7 地域との関わり等		
<ul style="list-style-type: none"> ・区内事業者の活用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<p>25年度に実施した住宅営繕109件の内、92件を関連会社で対応し、メーカーによる修繕8件、9件を区内事業者に委託している。</p> <p>また、保守点検業務については、15業務の内、10業種を区内事業者に委託している。</p> <p>障害者雇用率は、2.12%であり、法定水準(2.0%)を満たしている。(平成25年6月1日現在)</p> <p>環境配慮の取組を着実かつ継続的に実行していくため、環境方針を策定し、事務所活動における環境対策として、組織体制を整備し、省エネ活動、エネルギー使用量の把握などを行っている。</p> <p>荒川区の施設についても、共用部の照明の間引き等により、節電を行っている。</p>	

総評

[サービス面の評価]

施設の保全、修繕及び改良、住環境の整備について、24時間体制による適切な管理がなされている。コストを低減しつつ保守委託業務については区内業者の活用を図り、良好な維持管理が行われているが、営繕業務については、より一層の区内事業者の活用が望まれる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費節減の努力も行っている。また、指定管理者である株式会社東急コミュニティーは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価出来る。また、昨年度と比較して、日常清掃業務においては改善され、適正な運営が行われている。なお、営繕業務については、より一層の区内業者の活用が望まれる。

担当所管部署 部 防災都市づくり部 課 施設管理課